

注3

大学番号：国043

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

静岡大学 農学部 生物資源科学科  
応用生命科学科

注2

## 【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人静岡大学  
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画部企画課

職名・氏名 企画課長 フカ中 ムラ村 ヒデ英 タカ孝

電話番号 054-238-4574

（夜間） 054-238-4574

F A X 054-238-0089

e-mail secchi@adb.shizuoka.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。



# 目次

## 農学部

＜生物資源科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	21
6. 留意事項等に対する履行状況等	46
7. その他全般的事項	47

＜応用生命科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	49
2. 授業科目の概要	53
3. 施設・設備の整備状況、経費	60
4. 既設大学等の状況	61
5. 教員組織の状況	66
6. 留意事項等に対する履行状況等	84
7. その他全般的事項	85



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 静岡大学

## (2) 大学名

静岡大学

## (3) 大学の位置

〒422-8529

静岡県静岡市駿河区大谷836番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(イトウ ユキヒロ) 伊東幸宏 (平成22年4月1日)	(イシイ キヨシ) 石井 潔 (平成29年4月1日)	変更理由：任期満了 変更日：平成29年4月1日 (29)
学部長	(カワイ シンゴ) 河合真吾 (平成28年4月1日)		
学科長	(カトウ マサヤ) 加藤雅也 (平成28年4月1日)	(ヤマダ マサアキ) 山田雅章 (平成29年4月1日)	変更理由：任期満了 変更日：平成29年4月1日 (29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
農学部 生物資源科学科 学士(農学) 学士(学術)	農学関係	4年	115人	3年次7人	474人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 115 ( - ) [ - ]	人 7 ( - ) [ 7 ]	人 115 ( - ) [ - ]	人 7 ( - ) [ 7 ]	人 ( ) ( ) [ ]	人 ( ) ( ) [ ]	人 ( ) ( ) [ ]	人 ( ) ( ) [ ]	1.00倍 平成28年度春季入学の入学者数113名のうち5名、平成29年度春季入学の入学者数119名のうち5名は、地域創造学環(教育プログラム)の全学一括募集による入学生である。 なお、全学一括募集のため生物資源科学科分の志願者、受験者、合格者を特定できないことから、志願者数、受験者数、合格者数の欄には地域創造学環の志願者、受験者、合格者は含めていない。 (28)、(29)	
志願者数	290 ( - ) [ - ]	7 ( - ) [ 7 ]	467 ( - ) [ - ]	7 ( - ) [ 7 ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
受験者数	193 ( - ) [ - ]	7 ( - ) [ 7 ]	333 ( - ) [ - ]	7 ( - ) [ 7 ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
合格者数	116 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]	123 ( - ) [ - ]	7 ( - ) [ 7 ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
B 入学者数	113 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]	119 ( - ) [ - ]	7 ( - ) [ 7 ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	0.98		1.03							

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	112 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	119 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )					
2年次	/		112 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )					
3年次	/		/						
4年次	/		/		/				
計	112 [ - ] ( - )		231 [ - ] ( - )						

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	113 人	1 人	平成28年度	1 人	0 人	4月に入ってから入学辞退(他大学再受験 のため)の申出があった。(1人)	0.88 %
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	119 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		%
合 計	232 人	1 人					0.43 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他



## 2 授業科目の概要

<農学部 生物資源科学科>

### (1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
新入生 セミナー	新入生セミナー	1前		2		2	2 3		5 2		兼 5 クラス分けを変更したため、教員を追加(28)
	情報処理	1前		2			4 3				兼 1 クラス分けを変更したため、教員を追加(29)
教 養 科 目	英語コミュニケーション I	1前	1								兼 18 22 クラス分けを変更したため(29)
	英語演習 I	1前		1							兼 12 14 クラス分けを変更したため(29)
	基礎英語演習	1後		1							兼 1 17 設置計画時に誤って教員数を入力してしまっため(29)
	英語コミュニケーション II	1後		1							兼 17 7 クラス分けの方法を大きく変更したため(29)
	英語演習 II	1後・2前		1							兼 3 5 クラス分けを変更したため(29)
	英語ライティング I	2前・後		1							兼 3
	英語リーディング I	1後・2前		1							兼 3 6 クラス分けを変更したため(29)
	英語演習 III	1後・2前・2後		2							兼 4 6 クラス分けを変更したため(29)
	英語ライティング II	2前・後		2							兼 4 3 クラス分けを変更したため(29)
	英語リーディング II	1後・2前・2後		2							兼 5 6 クラス分けを変更したため(29)
	英語ディスカッション	1後・2前		2							兼 4 6 クラス分けを変更したため(29)
	英語インテンシブ A	1後		2							兼 2 1 クラス分けを変更したため(29)
	英語インテンシブ B	2前		2							兼 1
	アカデミックイングリッシュ I	2後		2							兼 1 集中開講に変更(29)
	アカデミックイングリッシュ II	2後		2							兼 1
	アカデミックイングリッシュ III	2後		2							兼 1 集中開講に変更(29)
	ビジネスイングリッシュ	3後		2							兼 1
	英語海外研修 A	1前		2							兼 2 1 クラスを分けて開講することにしたため(29)
	英語海外研修 B	1前		2							兼 2 1 クラスを分けて開講することにしたため(29)
	基 軸 教 育 科 目	初修外国語入門 I	1前	1							
初修外国語入門 II		1後		1							兼 22
初修外国語 I		2前		2							兼 7
初修外国語 II		2後		2							兼 6
初修外国語 III		3前		2							兼 6
初修外国語 IV		3後		2							兼 6
健 康	健康体育 I	1前		1							兼 6 7 クラス分けを変更したため(29)
	健康体育 II	1後		1							兼 6 7 クラス分けを変更したため(29)

体育	スポーツⅠ	2前	1					兼 5	
	スポーツⅡ	2後	1					兼 5 4	クラス分けを変更したため(29)
フィールドワーク	フィールド科学演習Ⅰ	1通	2	3 4 2	9 7		2 1	兼 1 2	他の科目との兼ね合いで担当者の入れ替えを実施(29) グループを細分化し、各グループに指導教員を配置のため追加(28) 共同・オムニバス
	フィールド科学演習Ⅱ	1通	1	4	9 10 2		1 2	兼 1	他の科目との兼ね合いで担当者の入れ替えを実施(29) 授業内容をより充実するため教員を追加(28) 集中
	ABPインターンシップ	2・3通	2					兼 2 1	指導体制充実のため(29) 集中・ABP留学生の必修科目
	フィールドワークⅠ	1後	1					兼 14 11	指導体制の充実のため(29)
	フィールドワークⅡA	2前	1					兼 14 11	指導体制の充実のため(29)
	フィールドワークⅡB	2後	1					兼 14 11	指導体制の充実のため(29)
	フィールドワークⅢA	3前	1					兼 14 11	指導体制の充実のため(29)
	フィールドワークⅢB	3後	1					兼 14 11	指導体制の充実のため(29)
	地域創造演習Ⅰ	1後	2					兼 13 11	指導体制の充実のため(29)
	地域創造演習ⅡA	2前	2					兼 13 11	指導体制の充実のため(29)
	地域創造演習ⅡB	2後	2					兼 13 11	指導体制の充実のため(29)
	地域創造演習ⅢA	3前	2					兼 13 11	指導体制の充実のため(29)
	地域創造演習ⅢB	3後	2					兼 13 11	指導体制の充実のため(29)
	地域創造演習ⅣA	4前	3					兼 13 11	指導体制の充実のため(29)
	地域創造演習ⅣB	4後	3					兼 13 11	指導体制の充実のため(29)
	キャリア形成科目	キャリアデザイン	1後	2					兼 1
個別分野科目	哲学	2前・後	2					兼 1	
	歴史と文化	2前・後	2					兼 2 1	クラスを分けて開講することにしたため(29)
	ことばと表現	2前・後	2					兼 1	
	日本国憲法	2前・後	2					兼 3 1	クラスを分けて開講することにしたため(29)
	法と社会	2前・後	2					兼 2 1	クラスを分けて開講することにしたため(29)
	経済と社会	2前・後	2					兼 4 1	クラスを分けて開講することにしたため(29)
	国際社会と日本	2前・後	2					兼 1	担当を予定していた教員が産休に入り、代替教員を準備できなかったため未開講(29) グローバル化に対応するため科目を追加(28)
	現代の社会	2前・後	2					兼 9 1	オムニバスで行うことになったため(29)
	心理学	2前・後	2					兼 2 1	クラスを分けて開講することにしたため(29)
	地域と文化	2前・後	2					兼 2 1	クラスを分けて開講することにしたため(29)
芸術論	2前・後	2					兼 1		
現代教養科目	数学の世界	2前・後	2					兼 1	
	数理の構造	2前・後	2					兼 2 1	クラスを分けて開講することにしたため(29)
	物理の世界	2前・後	2					兼 1	

教養科目	自然と物理 化学の世界 生活の科学 生命科学 生物と環境 地球科学 進化と地球環境 科学と技術	2前・後	2						兼 1			
		2前・後	2						兼 6	オムニバスで行うこととしたため (29)		
		2前・後	2						兼 4	クラスを分けて開講することにしたため (29)		
		2前・後	2			2			兼 3	クラスを分けて開講することにしたため (29)		
		2前・後	2		1	2			兼 6	クラスを分け、オムニバスで開講することにしたため (29)		
		2前・後	2						兼 1			
		2前・後	2						兼 1			
		2前・後	2						兼 4	クラスを分けて開講することにしたため (29)		
	学際科目	テーマ「国際・地域」	1・2・3前・後	2						兼 1		
		テーマ「環境・自然」		2						兼 1		
		テーマ「現代社会」		2						兼 1		
		テーマ「生命・人間」		2						兼 1		
		テーマ「科学・技術」		2						兼 1		
	日本語	日本語Ⅰ	1前	2						兼 1	留学生以外履修不可	
		日本語Ⅱ	1前	2						兼 1	留学生以外履修不可	
		日本語Ⅲ	1後	2						兼 1	留学生以外履修不可	
		日本語Ⅳ	1後	2						兼 1	留学生以外履修不可	
		日本語Ⅴ	2前	2						兼 1	留学生以外履修不可	
		日本語Ⅵ	2後	2						兼 1	留学生以外履修不可	
		日本事情	日本事情	1後	2						兼 1	
			A B P基礎日本語Ⅰ	1後	1						兼 1	対象学生がいなかったため、未開講 (29) A B P留学生の必修科目
		留学生科目	A B P基礎日本語Ⅱ	1後	1						兼 1	対象学生がいなかったため、未開講 (29) A B P留学生の必修科目
			A B P基礎日本語Ⅲ	1後	1						兼 1	対象学生がいなかったため、未開講 (29) A B P留学生の必修科目
			A B P基礎日本語Ⅳ	1後	1						兼 1	対象学生がいなかったため、未開講 (29) A B P留学生の必修科目
	A B P基礎日本語Ⅴ		1後	1						兼 1	対象学生がいなかったため、未開講 (29) A B P留学生の必修科目	
	A B P基礎日本語Ⅵ		1後	1						兼 1	対象学生がいなかったため、未開講 (29) A B P留学生の必修科目	
	A B P基礎日本語Ⅶ		1後	1						兼 1	対象学生がいなかったため、未開講 (29) A B P留学生の必修科目	
	A B P基礎日本語Ⅷ		1後	1						兼 1	対象学生がいなかったため、未開講 (29) A B P留学生の必修科目	
	A B P基礎日本語Ⅸ		1後	1						兼 1	対象学生がいなかったため、未開講 (29) A B P留学生の必修科目	
A B P基礎日本語Ⅹ	1後		1						兼 1	対象学生がいなかったため、未開講 (29) A B P留学生の必修科目		
基礎日本語												
教職等資格科目	(中等)教育の原理	2前・後	2						兼 1			
	(中等)発達と学習	2前・後	2						兼 1			

専 門 科 目	理 系 基 礎 科 目	数学概論 A	1前	2					兼 2	植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修	
		数学概論 B	1後	2					兼 2	植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修	
		物理学概論 A	1前	2		1				植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修	
		物理学概論 B	1後	2					兼 1	植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修	
		化学概論 A	1前	2	1					植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修	
		化学概論 B	1後	2		1				植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修	
		生物学概論 A	1前	2	1	1				オムニバス・植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修	
		生物学概論 B	1後	2	2					オムニバス・植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修	
		生物学実験	1通	1	4	6		1		兼 1	植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修
		化学実験	1前	1	2	1		1		兼 6	植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修
		物理学実験	1後	1		2	1		1	兼 3	植物 C 選択・木質 C 必修・環境 C 選択・農食 C 選択 指導体制の充実のため(28)
		A B P 基礎数学	1後	1						兼 1	対象学生がいなかったため未開講(29) A B P 留学生の必修科目
		A B P 基礎物理学	1後	1						兼 1	対象学生がいなかったため未開講(29) A B P 留学生の必修科目
		A B P 基礎化学	1後	1						兼 1	対象学生がいなかったため未開講(29) A B P 留学生の必修科目
		A B P 基礎生物学	1後	1						兼 1	対象学生がいなかったため未開講(29) A B P 留学生の必修科目
		農 学 基 礎 科 目	農学基礎論	1前	1	1					
植物バイオサイエンス基礎論	1後		1	3	8		1			オムニバス・植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修	
木質科学基礎論	1後		1	2	2	1		2 3 4		担当教員准教授に昇任(29.5) 担当教員准教授に昇任(28) オムニバス・植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修	
地域生態環境科学基礎論	1後		1	4	4		1			オムニバス・植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修	
コミュニティ基礎論	1後		1	1	2	1		1	兼 1	兼任教員を准教授に採用(28.10) 高度な専門性をもつ教員の分担割合を高めた(28) オムニバス・植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修	
応用生命科学基礎論	1後		1						兼 8	オムニバス・植物 C 必修・木質 C 必修・環境 C 必修・農食 C 必修	
コ ー ス 必 修 科 目	実践農学演習 I	1通	2	2	2	1		1	兼 1	兼任教員を准教授に採用(28.10) 共同・集中・植物 C 選択・木質 C 選択・環境 C 選択・農食 C 必修	
	園芸科学	2前	2	1						植物 C 必修・環境 C 選択・農食 C 選択	
	植物生理学	2前	2		1					植物 C 必修・環境 C 必修	
	作物学	2前	2	1						植物 C 必修・環境 C 選択・農食 C 選択	

専  
門  
科  
目

コ  
ー  
ス  
必  
修  
科  
目

植物医科学	2前	2	1	3 5	1	兼 1 3 教育内容を細分化し、専門性を熟慮して担当教員の見直しと補充を行ったため (29) オムニバス・植物C必修・環境C選択
土壌微生物学	2前	2		1		植物C必修・環境C選択
木材組織学	2前	1		1		木質C必修
技術者倫理	2前	1				兼 1 集中・木質C必修・環境C選択・農食C選択
木質科学実習	2前	1	2	4 2	2 4	担当教員准教授に昇任 (28.4 1名、29.5 1名) オムニバス・集中・木質C必修
農と食の哲学	2前	2	1			木質C選択・環境C選択・農食C必修
基礎生態学	2前	2	1			植物C選択・環境C必修・農食C選択
農と食の経済学	2前	2		1		植物C選択・農食C必修
分子生物学	2前	2		1		植物C必修
有機化学概論	2前	2	1			植物C必修・木質C必修・環境C必修・農食C選択
土壌圏科学	2前	2		1		植物C選択・木質C選択・環境C必修・農食C選択
木質機能科学	2前	2		1	1 2	担当教員准教授に昇任 (28) オムニバス・木質C必修
環境リスク論	2前	2	5	8	1	兼 1 指導体制の充実のため (29) 環境C必修・農食C選択
野生植物分類学	2前	1	2			オムニバス・木質C選択・環境C必修・農食C選択
環境基礎実験	2前	2	1	2 3		指導体制の見直しのため (29) オムニバス・環境C必修
実践農学演習Ⅱ	2通	2	2	2 1	1	兼 1 兼担当教員を准教授に採用 (28.10) 共同・集中・植物C選択・木質C選択・環境C選択・農食C必修
農山村デザイン演習Ⅰ	2通	4	2	3 2	1	兼 1 兼担当教員を准教授に採用 (28.10) 共同・植物C選択・木質C選択・環境C選択・農食C必修
環境フィールドワークⅠ	2通	4	5	8	1	オムニバス・環境C必修
農場実習	2通	2	1	1		オムニバス・植物C必修・農食C選択
高分子科学	2後	2	1			木質C必修
木質化学実験	2後	2	1	1	1	担当教員准教授に昇任 (29) オムニバス・木質C必修
森林環境水文学	2後	2				兼 1 2 設置計画時に教員数の入力を行った オムニバス・木質C選択・環境C必修・農食C選択
生化学概論	2後	2	1			植物C必修・木質C必修・環境C選択・農食C選択
植物バイオサイエンス実験Ⅰ	2後	1	1	6	1	オムニバス・植物C必修
基礎木質材料学	2後	2		1		木質C必修
木材化学	2後	2	1	1	1	担当教員准教授に昇任 (29) オムニバス・木質C必修

専 門 科 目	コ ー ス 必 修 科 目	情報処理演習	2後	1		2			オムニバス・木質C必修・環境C選択
		農村福祉論	2後	2				1	農食C必修
		農村資源計画学	2後	2		2	1		兼 1 2 兼担教員を准教授に採用 (28.10) オムニバス・木質C選択・環境C選択・農食C必修
		木質化学実験	2後	2		1		1	オムニバス・木質C必修
		木質構造学実験	3前	2		1		1	担当教員 准教授に昇任 (28) 木質C必修
		木質材料学実験	3前	2		1		1	オムニバス・木質C必修
		農食連携インターンシップ	3休	1		2	2	1	兼 1 兼担教員を准教授として採用 (28.10) オムニバス・集中・農食C必修
		植物バイオサイエンス実験Ⅱ	3前	1		2	4	1	オムニバス・植物C必修
		実践農学演習Ⅲ	3通	2		2	2	1	兼 1 兼担教員を准教授に採用 (28.10) 共同・集中・植物C選択・木質C選択・環境C選択・農食C必修
		農山村デザイン演習Ⅱ	3通	4		2	3	1	兼 1 兼担教員を准教授に採用 (28.10) 共同・植物C選択・木質C選択・環境C選択・農食C必修
		環境フィールドワークⅡ	3通	2		5	8	1	オムニバス・環境C必修
		植物バイオサイエンスプレセミナー	3後	1		3	9	2	准教授に就任 (28.10付1名) 助教に就任 (29.5付1名) 植物C必修
		木質科学専攻演習Ⅰ	3後	1		2	3	2	准教授に昇任 (28.4付1名、29.5付1名) 木質C必修
		植物バイオサイエンス実験Ⅲ	3後	2		3	9	2	准教授に就任 (28.10付1名) 助教に就任 (29.5付1名) オムニバス・植物C必修
		農食コミュニティデザイン演習	4前	2		2	3	1	准教授に就任 (28.10付2名) 農食C必修
		植物バイオサイエンスセミナー	4前	1		3	9	2	准教授に就任 (28.10付1名) 助教に就任 (29.5付1名) 植物C必修
		木質科学専攻演習Ⅱ	4前	1		2	3	2	准教授に昇任 (28.4付1名、29.5付1名) 木質C必修
		卒業研究	4通	6		12	23	6	准教授に就任 (28.10付3名) 准教授に昇任 (28.4付2名、29.5付1名)
		A B P 卒業研究	4前	3		12	23	6	准教授に就任 (28.10付3名) 准教授に昇任 (28.4付2名、29.5付1名)
コ ー ス 選 択 科 目	職業指導	1通	4					兼 1 集中・隔年・植物C選択・木質C選択・環境C選択・農食C選択	
	生態学入門	1後	2					兼 1	
	環境と化学	1前	2					兼 1	
	生活の中の物理	1前	2					兼 1	
	数値解析基礎	1後	2					兼 1	
	地質学概論	2前	2					兼 1 植物C選択・木質C選択・環境C選択・農食C選択	
	地学実習	2前	1					兼 1 集中・環境C選択	

専 門 科 目	コ ー ス 選 択 科 目	野生植物分類学実習	2前	1	2			オムニバス・集中・環境C選択・農食C選択
		コミュニティビジネス論	2前	2				兼 2 県内の複数の地域における先進的な 1 取組に学ぶため、兼任教員数を増員 (29) 農食C選択
		森林生態学	2後	2		1		木質C選択・環境C選択・農食C選 択
		環境毒性学	2後	2		1		環境C選択
		リモートセンシング学	2後	2		1		集中・環境C選択・農食C選択
		森林生態管理学	2後	2		1		木質C選択・環境C選択・農食C選 択
		環境社会学	2後	2		1		環境C選択・農食C選択
		緑地景観学	2後	2		1		集中・植物C選択・木質C選択・環 境C選択・農食C選択
		造林学	2後	2		1		環境C選択
		果樹園芸学	2後	2		1		植物C選択・農食C選択
		昆虫学	2後	2		1		植物C選択・環境C選択
		雑草学	2後	2		1		植物C選択・環境C選択・農食C選 択
		ゲノムサイエンス	2後	2		1		植物C選択
		都市計画論	2後	2				兼 1 木質C選択・農食C選択
		フードマーケティング論	2後	2			1	兼 2 兼任教員を准教授に採用 (28, 10) 4 集中・植物C選択・農食C選択
		住環境工学	2後	2				兼 1 隔年・集中・木質C選択
		住居計画	2前 2後	2				兼 1 非常勤講師の都合により開講学期を 変更 (29) 隔年・集中・木質C選択
		海外フィールドワーク	2休	2		2	1	兼 1 ローテーションにより担当教員を変 更 (29) 集中・共同・植物C選択・木質C選 択・環境C選択・農食C選択
		食のリスクマネジメント	2後	2				兼 1
		水と空気と光の物理化学	2前	2				兼 1
		生活と防災の高分子科学	2前	2				兼 1
		科学ジャーナリズム論	2後	2				兼 2 より専門性を高めるため (29) 1 隔年
		食品保存学	3前	1				兼 1 隔年・集中・植物C選択・農食C選 択
砂防学実習	3前	1			2 1	指導体制の充実を図るため (29) 集中・環境C選択		
森林利用学実習	3前	1			1	集中・環境C選択		
野菜園芸学	3前	2		1	1	オムニバス・植物C選択・農食C選 択		
花卉園芸学	3前	2				1 植物C選択・農食C選択		

専 門 科 目	コ ー ス 選 択 科 目	収穫後生理学	3前	2	1				植物C選択・農食C選択
		植物病理学	3前	2		1			植物C選択
		建築防災	3前	1					兼 1 隔年・集中・木質C選択
		建築法規	3前	1					兼 1 隔年・集中・木質C選択
		園芸食品学	3前	2			1		植物C選択・農食C選択
		樹木生化学	3前	2		1			植物C選択・木質C選択
		材料力学	3前	2			1	4	担当教員 准教授に昇任 (28.4) 木質C選択
		木質接着学	3前	2		1			木質C選択
		応用木質材料学	3前	2			1	1	オムニバス・木質C選択
		住環境構造学	3前	2					兼 1 木質C選択
		山地保全学	3前	2			1		環境C選択・農食C選択
		保全生態学	3前	2		1			植物C選択・環境C選択・農食C選択
		室内環境学	3前	2			1		木質C選択・環境C選択・農食C選択
		森林利用システム学	3前	2			1		木質C選択・環境C選択・農食C選択
		富士・南アルプス生態学実習	3前	1		1	1		オムニバス・集中・環境C選択
		空間情報科学	3前	2		1		1	オムニバス・環境C選択
		遺伝子工学	3後	2					兼 1 植物C選択
		応用気象学	3後	1					兼 1 集中・植物C選択・木質C選択・環境C選択・農食C選択
		設計製図	3後	2					兼 1 木質C選択
		住環境設計製図演習	3後	3					兼 1 木質C選択
		森林測量学実習	3後	1			2		オムニバス・集中・環境C選択
		地域生態環境科学プレセミナー	3後	1		5	8	1	環境C選択
		科学英語	3後	1					兼 1 集中・植物C選択
		木材保存学	3後	2					兼 1 木質C選択
		測量学	3後	2			1		木質C選択・環境C選択
		測量学実習	3後	1			2		オムニバス・木質C選択・環境C選択
		持続可能型農業科学	3後	1			1		植物C選択・環境C選択
		溪流環境学	3後	2			1		兼 1 環境C選択・農食C選択
		フードシステムガバナンス論	3後	2		1			兼 5 専門性の高い教員を追加 (29) 兼 4 集中・農食C選択
		農と食の起業論	3後	2			1		兼 7 農食C選択
インターンシップ	3休	2		5		3	3年生クラス担任が担当 (29) 集中・植物C選択・木質C選択・環境C選択・農食C選択		
自然遺産の保護と活用	3前	2					兼 1		
自然災害と現代社会	3前	2					兼 1		
防災科学実習	3後	1					兼 1		
地域生態環境科学セミナー	4前	1		5	8	1	環境C選択		
コミュニティーリーダー論	4通	2		2	5 4	1	兼 1 兼担教員を准教授に採用 (28.10) 農食C選択		
(中等) 教職入門 I	1前	1					兼 1 集中 非常勤講師の勤務先の都合により変更 (28)		



専 門 科 目	教 職 等 資 格 科 目	教 職 専 門 科 目 I	(中等) 教職入門Ⅱ	1前 4後	1						兼 1	集中 授業内容に現職教員の講演を追加したため、その講師の都合により夏季休業中の集中講義に変更(28)		
			(中等) 教育と社会	2前	2						兼 1			
			教育課程の意義と編成の方法	3前	1							兼 1	集中	
			教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	3前	1							兼 1	集中	
			特別活動論	3前	2							兼 1		
			生徒指導(進路指導の理論及び方法を含む)	3後	2							兼 1		
			教育相談	3前	2							兼 1		
			教 職 専 門 科 目 II	理科教育法Ⅲ	2・3前	2							兼 1	集中
				理科教育法Ⅳ	2・3前	2							兼 1	集中
				農業科教育法Ⅰ	2・3前	2							兼 1	集中
				農業科教育法Ⅱ	2・3前	2							兼 1	集中
				教育実習事前・事後指導	3後～4前	1							兼 1	集中
				教職実践演習(中・高)	4後	2							兼 1	
			教育実習Ⅱ	4前		2						兼 1		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	244	1	247	2	244	1	247	
				[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	国際社会と日本	2	2	一般	選択	担当予定だった教員が産休に入り、代替教員を準備することが出来なかったため (29)

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「国際社会と日本」を未開講としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」</p> <p>「国際社会と日本」（2単位・2年前期）は、教養科目の個別分野科目の22科目のうちの1科目である。「国際社会と日本」は、担当予定であった教員が産休に入り代替教員を準備することができなかったため未開講としたが、個別分野科目は、2年生向けに3つのコマ（平成29年度は前期月曜5・6時限、前期火曜3・4時限、後期火曜3・4時限）に集約して開講しており、学生はいずれのコマも5科目以上のうち、1科目を選択することになっている。また、時間割等において開講科目を周知していることから、学生への影響もほとんどないと判断し、「国際社会と日本」を未開講とすることについての学生への周知は行っていない。(29)</p>
---

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{247} = \boxed{0.4}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	282,046 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	282,046 m <sup>2</sup>			
	運 動 場 用 地	84,654 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	84,654 m <sup>2</sup>			
	小 計	366,700 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	366,700 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	3,754,703 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	3,754,703 m <sup>2</sup>			
	合 計	4,121,403 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	4,121,403 m <sup>2</sup>			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		182,357 m <sup>2</sup> ( 182,357 m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	182,357 m <sup>2</sup> ( 182,357 m <sup>2</sup> )			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		10室	23室	109室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		農学部 生物資源科学科			66 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	図書、学術雑誌、電子 ジャーナル及び視聴覚 資料は、学科単位で特 定不能なため、大学全 体の数
	農学部 生物資源科学科	1,214,500 [349,680] (1,201,714 [349,392])	20,481 [6,534] (20,483 [6,536])	6,194 [5,548] (6,193 [5,547])	13,692 ( 14,179)	600 ( 600 )	0 ( 0 )	
	計	1,214,500 [349,680] (1,201,714 [349,392])	20,481 [6,534] (20,483 [6,536])	6,194 [5,548] (6,193 [5,547])	13,692 ( 14,179)	600 ( 600 )	0 ( 0 )	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		12,236 m <sup>2</sup>		1,109	1,098,625			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体	
		3,970 m <sup>2</sup>		水泳プール、テニスコート、弓道場ほか				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次 千円	第2年次 千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	静岡大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 定員	収定 容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文社会科学部		450	3年次 5	1,850		1.02			平成24年度入学生 より、人文学部か ら人文社会科学部 へ学部名称変更
社会学科	4	70	—	290	学士 (社会学又は 学術)	1.07	昭和57年度	静岡市駿河区大谷836	
言語文化学科	4	75	—	300	学士 (文学又は 学術)	1.04	平成 4年度	〃	
法学科	4	90	3年次 2	364	学士 (法学又は 学術)	1.06	昭和53年度	〃	
法学科(夜間主コース)	4	30	3年次 3	126	学士 (法学)	0.94	平成 8年度	〃	
経済学科	4	155	—	650	学士 (経済学又は 学術)	1.03	昭和53年度	〃	
経済学科(夜間主コース)	4	30	—	120	学士 (経済学)	0.82	平成 8年度	〃	
教育学部		300		1,400		1.01			
学校教育教員養成課程	4	300	—	1,200	学士 (教育学)	1.01	平成10年度	静岡市駿河区大谷836	
生涯教育課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より学 生募集停止
総合科学教育課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より学 生募集停止
芸術文化課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より学 生募集停止
情報学部		245		890		1.03			
情報科学科	4	100	—	400	学士 (情報学)	1.06	平成 8年度	浜松市中区城北3-5-1	
行動情報学科	4	70	—	140	〃	1.02	平成28年度	〃	
情報社会学科	4	75	—	350	学士 (情報学又は 学術)	1.01	平成 8年度	〃	

理学部		240		910		1.01			
数学科	4	38	—	146	学士 (理学)	0.99	昭和40年度	静岡市駿河区大谷836	
物理学科	4	48	—	186	学士 (理学又は 学術)	0.98	〃	〃	
化学科	4	52	—	194	〃	0.94	〃	〃	
生物科学科	4	52	—	194	〃	0.95	平成18年度	〃	
地球科学科	4	50	—	190	〃	0.99	〃	〃	
工学部		550		2,170		1.03			
機械工学科	4	168	—	666	学士 (工学又は 学術)	1.04	平成7年度	浜松市中区城北3-5-1	
電気電子工学科	4	110	—	430	学士 (工学)	1.05	〃	〃	
電子物質科学科	4	110	—	440	〃	1.03	平成25年度	〃	
化学バイオ工学科	4	112	—	434	学士 (工学又は 学術)	1.02	〃	〃	
数理システム工学科	4	50	—	200	学士 (工学)	1.02	〃	〃	
物質工学科	4	—	—	—	〃	—	平成7年度	〃	平成25年度より学生募集停止
システム工学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成25年度より学生募集停止
農学部		185	3年次 10	690		1.04			
生物資源科学科	4	115	3年次 7	230	学士 (農学又は 学術)	1.00	平成28年度	静岡市駿河区大谷836	
応用生命科学科	4	70	3年次 3	140	学士 (農学)	1.06	〃	〃	
共生バイオサイエンス学科	4	—	—	—	〃	—	平成18年度	〃	平成28年度より学生募集停止
応用生物化学科	4	—	—	—	〃	—	平成元年度	〃	平成28年度より学生募集停止
環境森林科学科	4	—	—	—	〃	—	平成18年度	〃	平成28年度より学生募集停止

大学院人文社会科学研究科		36		72		0.79			
臨床人間科学専攻	2	11	—	22	修士 (臨床人間科学)	0.76	平成15年度	静岡市駿河区大谷836	
比較地域文化専攻	2	10	—	20	修士 (文学)	0.50	平成9年度	〃	
経済専攻	2	15	—	30	修士 (経済学)	0.99	平成17年度	〃	
大学院教育学研究科		76		156					
学校教育研究専攻	2	52	—	104	修士 (教育学)	0.85	平成21年度	静岡市駿河区大谷836	
共同教科開発学専攻	3	4	—	12	博士 (教育学)	1.25	平成24年度	〃	
教育実践高度化専攻	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	1.17	平成21年度	〃	
大学院総合科学技術研究科		479		958		1.15			
情報学専攻	2	60	—	120	修士 (情報学)	1.08	平成27年度	浜松市中区城北3-5-1	
理学専攻	2	70	—	140	修士 (理学)	1.04	〃	静岡市駿河区大谷836	
工学専攻	2	262	—	524	修士 (工学)	1.27	〃	浜松市中区城北3-5-1	
農学専攻	2	87	—	174	修士 (農学)	0.92	〃	静岡市駿河区大谷836	
大学院情報学研究科									
情報学専攻	2	—	—	—	修士 (情報学)	—	平成12年度	浜松市中区城北3-5-1	平成27年度より学生募集停止
大学院理学研究科									
物理学専攻	2	—	—	—	修士 (理学)	—	平成18年度	静岡市駿河区大谷836	平成27年度より学生募集停止
地球科学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より学生募集停止

大学院工学研究科									
機械工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成18年度	浜松市中区城北3-5-1	平成27年度より学生募集停止
電気電子工学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より学生募集停止
電子物質科学専攻	2	—	—	—	〃	—	平成25年度	〃	平成27年度より学生募集停止
数理システム工学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より学生募集停止
事業開発マネジメント専攻	2	—	—	—	〃	—	平成18年度	〃	平成27年度より学生募集停止
大学院農学研究科									
共生バイオサイエンス専攻	2	—	—	—	修士 (農学)	—	平成20年度	静岡市駿河区大谷836	平成27年度より学生募集停止
大学院自然科学系教育部		50		150		0.86			
ナノビジョン工学専攻	3	13	—	39	博士 (学術又は工学)	0.68	平成18年度	浜松市中区城北3-5-1	
光・ナノ物質機能専攻	3	12	—	36	博士 (学術、理学又は工学)	0.72	〃	〃	
情報科学専攻	3	10	—	30	博士 (学術、情報学、理学又は工学)	1.20	〃	〃	
環境・エネルギーシステム専攻	3	7	—	21	博士 (学術、理学又は工学)	0.94	〃	静岡市駿河区大谷836	
バイオサイエンス専攻	3	8	—	24	博士 (学術、理学、工学又は農学)	0.87	〃	〃	
大学院法務研究科									
法務専攻	3	—	—	—	法務博士 (専門職)	—	平成17年度	静岡市駿河区大谷836	平成28年度より学生募集停止

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
- ※ 「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ※ なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
- ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
- ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。



5 教員組織の状況

<農学部 生物資源科学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	釜谷保志(59)	平成28年4月	化学概論A 地域生態環境科学基礎論 環境基礎実験 環境フィールドワークI 環境フィールドワークII 環境毒性学 地域生態環境科学プレセミナー 地域生態環境科学セミナー 卒業研究 ABP卒業研究	専	教授	釜谷保志(61)	平成28年4月	化学概論A 地域生態環境科学基礎論 環境リスク論 環境基礎実験 環境フィールドワークI 環境フィールドワークII 環境毒性学 地域生態環境科学プレセミナー 地域生態環境科学セミナー 卒業研究 ABP卒業研究	指導体制の充実を図るため担当追加(29)
専	教授	澤田均(59)	平成28年4月	生物学実験 地域生態環境科学基礎論 基礎生態学 環境フィールドワークI 環境フィールドワークII 地域生態環境科学プレセミナー 地域生態環境科学セミナー 卒業研究 ABP卒業研究	専	教授	澤田均(60)	平成28年4月	生物学実験 地域生態環境科学基礎論 基礎生態学 環境リスク論 環境フィールドワークI 環境フィールドワークII 地域生態環境科学プレセミナー 地域生態環境科学セミナー 卒業研究 ABP卒業研究	指導体制の充実を図るため担当追加(29)
専	教授	水永博己(58)	平成28年4月	地域生態環境科学基礎論 植物医科学 野生植物分類学 環境フィールドワークI 環境フィールドワークII 野生植物分類学実習 緑地景観学 富士・南アルプス生態学実習 海外フィールドワーク 地域生態環境科学プレセミナー 地域生態環境科学セミナー 卒業研究 ABP卒業研究	専	教授	水永博己(59)	平成28年4月	地域生態環境科学基礎論 植物医科学 環境リスク論 野生植物分類学 環境フィールドワークI 環境フィールドワークII 野生植物分類学実習 緑地景観学 富士・南アルプス生態学実習 海外フィールドワーク 地域生態環境科学プレセミナー 地域生態環境科学セミナー 卒業研究 ABP卒業研究	指導体制の充実を図るため担当追加(29)  ローテーションにより担当教員を変更しているため、平成29年度は担当しない。(29)
専	教授	鳥山優(57)	平成28年4月	フィールド科学演習I フィールド科学演習II 生物学概論B 生物学実験 実践農学演習I 実践農学演習II 農山村デザイン演習I 生化学概論 農食連携インターシッパ 実践農学演習III 農山村デザイン演習II 農食コミュニティデザイン演習 コミュニティーリーダー論 卒業研究 ABP卒業研究						

専	教授	河合真吾 (54)	平成28年4月	化学実験 木質科学基礎論 木質科学実習 有機化学概論 木質化学実験 木材化学 樹木生化学 木質科学専攻演習Ⅰ 木質科学専攻演習Ⅱ 卒業研究 A B P 卒業研究							
専	教授	山田雅章 (53)	平成28年4月	化学実験 木質科学基礎論 木質科学実習 高分子科学 木質化学実験 木質接着学 木質科学専攻演習Ⅰ 木質科学専攻演習Ⅱ 卒業研究 A B P 卒業研究							
専	教授	山下雅幸 (52)	平成28年4月	フィールド科学演習Ⅰ フィールド科学演習Ⅱ 生物学実験 地域生態環境科学基礎論 野生植物分類学 環境フィールドワークⅠ 環境フィールドワークⅡ 野生植物分類学実習 地域生態環境科学プレセミナー 地域生態環境科学セミナー 海外フィールドワーク 卒業研究 A B P 卒業研究	専	教授	山下雅幸 (53)	平成28年4月	フィールド科学演習Ⅰ フィールド科学演習Ⅱ 生物学実験 地域生態環境科学基礎論 環境リスク論 野生植物分類学 環境フィールドワークⅠ 環境フィールドワークⅡ 野生植物分類学実習 保全生態学 海外フィールドワーク 地域生態環境科学プレセミナー 地域生態環境科学セミナー 卒業研究 A B P 卒業研究	指導体制の充実を図るため担当追加 (29)  ローテーションにより担当教員を変更しているため、平成29年度は担当しない。(29)	
専	教授	竹之内裕文 (48)	平成28年4月	農学基礎論 実践農学演習Ⅰ 農と食の哲学 実践農学演習Ⅱ 農山村デザイン演習Ⅰ 農食連携インターシップ 実践農学演習Ⅲ 農山村デザイン演習Ⅱ 農食コミュニティデザイン演習 フードシステムガバナンス論 コミュニティーリーダー論 卒業研究 A B P 卒業研究							
専	教授	鈴木克己 (51)	平成28年4月	フィールド科学演習Ⅱ 生物学概論B 生物学実験 植物バイオサイエンス基礎論 園芸科学 野菜園芸学 植物バイオサイエンス実験Ⅱ 植物バイオサイエンス実験Ⅲ 植物バイオサイエンスプレセミナー 植物バイオサイエンスセミナー 卒業研究 A B P 卒業研究	専	教授	鈴木克己 (52)	平成28年4月	フィールド科学演習Ⅰ フィールド科学演習Ⅱ 生物学概論B 生物学実験 生物と環境 植物バイオサイエンス基礎論 園芸科学 野菜園芸学 植物バイオサイエンス実験Ⅱ 植物バイオサイエンス実験Ⅲ 植物バイオサイエンスプレセミナー 植物バイオサイエンスセミナー 卒業研究 A B P 卒業研究	担当者の入れ替えを実施し、平成29年度から担当 (29)  オムニバスで開講することにしたため、平成29年より担当 (29)	

専	教授	稲垣栄洋 (47)	平成28年4月	フィールド科学演習Ⅱ 植物バイオサイエンス基礎論 作物学 農場実習 植物バイオサイエンスプレセミナー 植物バイオサイエンスセミナー 雑草学 卒業研究 A B P 卒業研究	専	教授	稲垣栄洋 (48)	平成28年4月	フィールド科学演習Ⅱ 植物バイオサイエンス基礎論 作物学 農場実習 植物バイオサイエンス実験Ⅲ 植物バイオサイエンスプレセミナー 植物バイオサイエンスセミナー 雑草学 卒業研究 A B P 卒業研究	指導体制の充実を図るため担当追加 (29)
専	教授	王 権 (45)	平成28年4月	コミュニティ基礎論 環境フィールドワークⅠ 環境フィールドワークⅡ リモートセンシング学 空間情報科学 地域生態環境科学プレセミナー 地域生態環境科学セミナー 卒業研究 A B P 卒業研究	専	教授	王 権 (46)	平成28年4月	コミュニティ基礎論 環境リスク論 環境フィールドワークⅠ 環境フィールドワークⅡ リモートセンシング学 空間情報科学 地域生態環境科学プレセミナー 地域生態環境科学セミナー 卒業研究 A B P 卒業研究	高度な専門性をもつ教員の分担割合を高めた結果、担当減 (28) 指導体制の充実を図るため担当追加 (29)
専	教授	加藤雅也 (42)	平成28年4月	生物学概論A 植物バイオサイエンス基礎論 収穫後生理学 植物バイオサイエンス実験Ⅰ 植物バイオサイエンス実験Ⅱ 植物バイオサイエンス実験Ⅲ 植物バイオサイエンスプレセミナー 植物バイオサイエンスセミナー 卒業研究 A B P 卒業研究						
専	准教授	近藤恵市 (61)	平成28年4月	環境フィールドワークⅠ 環境フィールドワークⅡ 森林利用学実習 森林利用システム学 地域生態環境科学プレセミナー 地域生態環境科学セミナー 測量学 測量学実習 卒業研究 A B P 卒業研究	専	准教授	近藤恵市 (62)	平成28年4月	物理学実験 環境リスク論 環境フィールドワークⅠ 環境フィールドワークⅡ 森林利用学実習 森林利用システム学 地域生態環境科学プレセミナー 地域生態環境科学セミナー 測量学 測量学実習 卒業研究 A B P 卒業研究	指導体制の充実を図るため担当追加 (28) 指導体制の充実を図るため担当追加 (29)
専	准教授	山脇和樹 (60)	平成28年4月	生物学概論A 生物学実験 フィールド科学演習Ⅰ 植物バイオサイエンス基礎論 植物バイオサイエンス実験Ⅰ 植物バイオサイエンス実験Ⅱ 植物バイオサイエンス実験Ⅲ 園芸食品学 卒業研究 A B P 卒業研究	専	准教授	山脇和樹 (61)	平成28年4月	生物学概論A 生物学実験 フィールド科学演習Ⅰ フィールド科学演習Ⅱ 植物バイオサイエンス基礎論 植物バイオサイエンス実験Ⅰ 植物バイオサイエンス実験Ⅱ 植物バイオサイエンス実験Ⅲ 園芸食品学 卒業研究 A B P 卒業研究	担当者の入れ替えにより平成29年度より担当 (29)
専	准教授	向井啓雄 (56)	平成28年4月	生物学実験 植物バイオサイエンス基礎論 植物生理学 植物バイオサイエンス実験Ⅰ 植物バイオサイエンス実験Ⅱ 植物バイオサイエンス実験Ⅲ 植物バイオサイエンスプレセミナー 植物バイオサイエンスセミナー 果樹園芸学 卒業研究 A B P 卒業研究						

専	准教授	逢坂興宏 (54)	平成28年4月	情報処理 フィールド科学演習 I フィールド科学演習 II 地域生態環境科学基 礎論 コミュニティ基礎論 環境フィールドワー クI 情報処理演習 環境フィールドワー クII 砂防学実習 山地保全学 森林測量学実習 地域生態環境科学プ レゼミナー 地域生態環境科学セ ミナー コミュニティーリー ダー論 卒業研究 A B P 卒業研究	専	准教授	逢坂興宏 (55)	平成28年4月	情報処理 フィールド科学演習 I フィールド科学演習 II 地域生態環境科学基 礎論 コミュニティ基礎論 環境リスク論 環境フィールドワー クI 情報処理演習 環境フィールドワー クII 砂防学実習 山地保全学 森林測量学実習 地域生態環境科学プ レゼミナー 地域生態環境科学セ ミナー コミュニティーリー ダー論 卒業研究 A B P 卒業研究	高度な専門性をもつ教員 の分担割合を高めた結 果、担当減 (28) 指導体制の充実を図るた め担当追加 (29)
専	准教授	柴垣裕司 (51)	平成28年4月	情報処理 コミュニティ基礎論 農と食の経済学 農山村デザイン演習 I 農食連携インター シップ 農山村デザイン演習 II 農食コミュニティデ ザイン演習 農と食の起業論 コミュニティーリー ダー論 卒業研究 A B P 卒業研究						
専	准教授	渡邊 拓 (51)	平成28年4月	物理学概論 A 物理学実験 環境基礎実験 環境フィールドワー クI 農村資源計画学 環境フィールドワー クII 室内環境学 地域生態環境科学プ レゼミナー 地域生態環境科学セ ミナー コミュニティーリー ダー論 卒業研究 A B P 卒業研究	専	准教授	渡邊 拓 (52)	平成28年4月	物理学概論 A 物理学実験 環境リスク論 環境基礎実験 農村資源計画学 環境フィールドワー クI 環境フィールドワー クII 室内環境学 地域生態環境科学プ レゼミナー 地域生態環境科学セ ミナー コミュニティーリー ダー論 卒業研究 A B P 卒業研究	指導体制の充実を図るた め担当追加 (29)
専	准教授	南雲俊之 (46)	平成28年4月	フィールド科学演習 I 化学実験 地域生態環境科学基 礎論 土壌圏科学 環境基礎実験 環境フィールドワー クI 環境フィールドワー クII 地域生態環境科学プ レゼミナー 地域生態環境科学セ ミナー 持続可能型農業科学 卒業研究 A B P 卒業研究	専	准教授	南雲俊之 (47)	平成28年4月	フィールド科学演習 I フィールド科学演習 II 化学実験 地域生態環境科学基 礎論 土壌圏科学 環境リスク論 環境基礎実験 環境フィールドワー クI 環境フィールドワー クII 地域生態環境科学プ レゼミナー 地域生態環境科学セ ミナー 持続可能型農業科学 卒業研究 A B P 卒業研究	担当者の入れ替えのため 平成29年度より担当 (29)  指導体制の充実を図るた め担当追加 (29)
専	准教授	田上陽介 (44)	平成28年4月	植物バイオサイエン ス基礎論 植物バイオサイエン ス実験 I 植物バイオサイエン スプレゼミナー 植物バイオサイエン スセミナー 昆虫学 卒業研究 A B P 卒業研究	専	准教授	田上陽介 (45)	平成28年4月	植物バイオサイエン ス基礎論 植物バイオサイエン ス実験 I 植物バイオサイエン ス実験 III 植物バイオサイエン スプレゼミナー 植物バイオサイエン スセミナー 昆虫学 卒業研究 A B P 卒業研究	指導体制の充実を図るた め担当追加 (29)

専	准教授	楢本正明 (44)	平成28年4月	生物学実験 環境フィールドワークⅠ 環境フィールドワークⅡ 森林生態学 富士・南アルプス生態学実習 森林測量学実習 地域生態環境科学プレセミナー 地域生態環境科学セミナー 卒業研究 A B P 卒業研究	専	准教授	楢本正明 (45)	平成28年4月	フィールド科学演習Ⅰ フィールド科学演習Ⅱ 生物学実験 生物と環境 環境リスク論 環境フィールドワークⅠ 環境フィールドワークⅡ 森林生態学 富士・南アルプス生態学実習 森林測量学実習 地域生態環境科学プレセミナー 地域生態環境科学セミナー 卒業研究 A B P 卒業研究	担当者の入れ替えにより平成29年度から担当(29) 担当者の入れ替えのため平成29年度より担当(29) オムニバスで開講することにしたため担当追加(29) 指導体制の充実を図るため担当追加(29)
専	准教授	堀池徳祐 (43)	平成28年4月	新入生セミナー 植物バイオサイエンス基礎論 分子生物学 植物バイオサイエンスプレセミナー 植物バイオサイエンスセミナー ゲノムサイエンス 卒業研究 A B P 卒業研究	専	准教授	堀池徳祐 (44)	平成28年4月	新入生セミナー 生命科学 植物バイオサイエンス基礎論 分子生物学 植物バイオサイエンス実験Ⅲ 植物バイオサイエンスプレセミナー 植物バイオサイエンスセミナー ゲノムサイエンス 海外フィールドワーク 卒業研究 A B P 卒業研究	クラスを分けて開講することにしたため担当追加(29) 指導体制の充実を図るため担当追加(29) 担当者の入れ替えにより平成29年度から担当追加(29)
専	准教授	切岩祥和 (43)	平成28年4月	情報処理 フィールド科学演習Ⅰ 生物学実験 植物バイオサイエンス基礎論 植物医科学 野菜園芸学 植物バイオサイエンス実験Ⅰ 植物バイオサイエンスプレセミナー 植物バイオサイエンスセミナー 卒業研究 A B P 卒業研究	専	准教授	切岩祥和 (44)	平成28年4月	情報処理 フィールド科学演習Ⅰ フィールド科学演習Ⅱ 生物学実験 植物バイオサイエンス基礎論 植物医科学 野菜園芸学 植物バイオサイエンス実験Ⅰ 植物バイオサイエンス実験Ⅲ 植物バイオサイエンスプレセミナー 植物バイオサイエンスセミナー 卒業研究 A B P 卒業研究	担当者の入れ替えにより平成29年度から担当追加(29) 指導体制の充実を図るため担当追加(29)
専	准教授	鯨島玲子 (42)	平成28年4月	新入生セミナー 化学概論B 植物バイオサイエンス基礎論 土壌微生物学 植物バイオサイエンス実験Ⅰ 植物バイオサイエンス実験Ⅱ 植物バイオサイエンス実験Ⅲ 卒業研究 A B P 卒業研究	専	准教授	鯨島玲子 (43)	平成28年4月	新入生セミナー 化学概論B 植物バイオサイエンス基礎論 土壌微生物学 植物バイオサイエンス実験Ⅰ 植物バイオサイエンス実験Ⅱ 植物バイオサイエンス実験Ⅲ 卒業研究 A B P 卒業研究	
専	准教授	平田久笑 (40)	平成28年4月	生物学実験 植物バイオサイエンス基礎論 植物医科学 植物病理学 植物バイオサイエンス実験Ⅰ 植物バイオサイエンス実験Ⅱ 植物バイオサイエンス実験Ⅲ 植物バイオサイエンスプレセミナー 植物バイオサイエンスセミナー 卒業研究 A B P 卒業研究	専	准教授	平田久笑 (41)	平成28年4月	生命科学 生物学実験 植物バイオサイエンス基礎論 植物医科学 植物病理学 植物バイオサイエンス実験Ⅰ 植物バイオサイエンス実験Ⅱ 植物バイオサイエンス実験Ⅲ 植物バイオサイエンスプレセミナー 植物バイオサイエンスセミナー 卒業研究 A B P 卒業研究	クラスを分けて開講することにしたため担当追加(29)

専	准教授	飯尾淳弘 (39)	平成28年4月	環境フィールドワークⅠ 木質科学実習 環境フィールドワークⅡ 造林学 地域生態環境科学プレセミナー 地域生態環境科学セミナー 卒業研究 A B P 卒業研究	専	准教授	飯尾淳弘 (40)	平成28年4月	フィールド科学演習Ⅱ 環境リスク論 環境フィールドワークⅠ 木質科学実習 造林学 地域生態環境科学プレセミナー 地域生態環境科学セミナー 卒業研究 A B P 卒業研究	担当者の入れ替えのため平成29年度より担当(29) 指導体制の充実を図るため担当追加(29)
専	准教授	小島陽一 (39)	平成28年4月	生物学実験 フィールド科学演習Ⅰ 木質科学基礎論 木材組織学 情報処理演習 基礎木質材料学 木質材料学実験 木質科学実習 応用木質材料学 木質科学専攻演習Ⅰ 木質科学専攻演習Ⅱ 卒業研究 A B P 卒業研究						
専	准教授	今泉文寿 (39)	平成28年4月	新入生セミナー 地域生態環境科学基礎論 コミュニティ基礎論 環境フィールドワークⅠ 環境フィールドワークⅡ 森林生態管理学 地域生態環境科学プレセミナー 地域生態環境科学セミナー 溪流環境学 卒業研究 A B P 卒業研究	専	准教授	今泉文寿 (40)	平成28年4月	新入生セミナー 地域生態環境科学基礎論 コミュニティ基礎論 環境リスク論 環境フィールドワークⅠ 環境フィールドワークⅡ 地域生態環境科学プレセミナー 地域生態環境科学セミナー 溪流環境学 卒業研究 A B P 卒業研究	高度な専門性をもつ教員の分担割合を高めた結果、担当減(28) 指導体制の充実を図るため担当追加(29)
専	准教授	八幡昌紀 (37)	平成28年4月	フィールド科学演習Ⅰ フィールド科学演習Ⅱ 植物バイオサイエンス基礎論 植物医科学 農場実習 植物バイオサイエンスプレセミナー 植物バイオサイエンスセミナー 卒業研究 A B P 卒業研究	専	准教授	八幡昌紀 (38)	平成28年4月	フィールド科学演習Ⅰ フィールド科学演習Ⅱ 植物バイオサイエンス基礎論 植物医科学 農場実習 植物バイオサイエンス実験Ⅲ 植物バイオサイエンスプレセミナー 植物バイオサイエンスセミナー 森林生態管理学 卒業研究 A B P 卒業研究	指導体制の充実を図るため担当追加(29)
専	准教授	富田涼都 (36)	平成28年4月	新入生セミナー フィールド科学演習Ⅰ 地域生態環境科学基礎論 コミュニティ基礎論 実践農学演習Ⅰ 実践農学演習Ⅱ 農山村デザイン演習Ⅰ 環境フィールドワークⅠ 実践農学演習Ⅲ 農山村デザイン演習Ⅱ 環境フィールドワークⅡ 農食コミュニティデザイン演習 環境社会学 地域生態環境科学プレセミナー 地域生態環境科学セミナー コミュニティーリーダー論 卒業研究 A B P 卒業研究	専	准教授	富田涼都 (37)	平成28年4月	新入生セミナー フィールド科学演習Ⅰ フィールド科学演習Ⅱ 地域生態環境科学基礎論 コミュニティ基礎論 実践農学演習Ⅰ 環境リスク論 実践農学演習Ⅱ 農山村デザイン演習Ⅰ 環境フィールドワークⅠ 実践農学演習Ⅲ 農山村デザイン演習Ⅱ 環境フィールドワークⅡ 農食コミュニティデザイン演習 環境社会学 地域生態環境科学プレセミナー 地域生態環境科学セミナー コミュニティーリーダー論 卒業研究 A B P 卒業研究	担当者の入れ替えのため平成29年度より担当(29) 高度な専門性をもつ教員の分担割合を高めた結果、担当減(28) 指導体制の充実を図るため担当追加(29)

専	助教	小林研治 (34)	平成28年4月	木質科学基礎論 木質科学実習 木質機能科学 木質構造学実験 材料力学 木質科学専攻演習Ⅰ 木質科学専攻演習Ⅱ 卒業研究 A B P 卒業研究						
専	助教	太田美帆 (41)	平成28年4月	コミュニティ基礎論 実践農学演習Ⅰ 実践農学演習Ⅱ 実践農学演習Ⅲ 農山村デザイン演習Ⅰ 農村福祉論 農食連携インター シップ 農山村デザイン演習Ⅱ 農食コミュニティデ ザイン演習 コミュニティーリー ダー論 卒業研究 A B P 卒業研究	専	助教	太田美帆 (42)	平成28年4月	コミュニティ基礎論 実践農学演習Ⅰ 実践農学演習Ⅱ 実践農学演習Ⅲ 農村福祉論 農山村デザイン演習Ⅰ 農食連携インター シップ 農山村デザイン演習Ⅱ 農食コミュニティデ ザイン演習 コミュニティーリー ダー論 海外フィールドワー ク 卒業研究 A B P 卒業研究	高度な専門性をもつ教員 の分担割合を高めた結 果、担当減 (28)  担当者入れ替えのため平 成29年度担当 (29)
専	助教	中塚貴司 (39)	平成28年4月	新入生セミナー 生物学実験 植物バイオサイエン ス基礎論 植物医科学 花卉園芸学 植物バイオサイエン ス実験Ⅰ 植物バイオサイエン ス実験Ⅱ 植物バイオサイエン ス実験Ⅲ 植物バイオサイエン スプレセミナー 植物バイオサイエン スセミナー 卒業研究 A B P 卒業研究						
専	助教	田中 孝 (38)	平成28年4月	新入生セミナー 化学実験 木質科学基礎論 木質科学実習 木質機能科学 木質化学実験 木質科学専攻演習Ⅰ 木質科学専攻演習Ⅱ 卒業研究 A B P 卒業研究						
専	助教	米田夕子 (36)	平成28年4月	木質科学基礎論 木質科学実習 木質化学実験 木材化学 木質科学専攻演習Ⅰ 木質科学専攻演習Ⅱ 卒業研究 A B P 卒業研究	専	准教授	米田夕子 (37)	平成28年4月	木質科学基礎論 木質科学実習 木質化学実験 木材化学 木質科学専攻演習Ⅰ 木質科学専攻演習Ⅱ 卒業研究 A B P 卒業研究	平成29年5月 准教授に昇 任 (29)
専	助教	小堀 光 (32)	平成28年4月	新入生セミナー フィールド科学演習 Ⅰ 木質科学基礎論 木質科学実習 木質材料学実験 応用木質材料学 木質科学専攻演習Ⅰ 木質科学専攻演習Ⅱ 卒業研究 A B P 卒業研究	専	助教	小堀 光 (33)	平成28年4月	新入生セミナー フィールド科学演習 Ⅰ フィールド科学演習 Ⅱ 物理学実験 木質科学基礎論 木質科学実習 木質材料学実験 応用木質材料学 木質科学専攻演習Ⅰ 木質科学専攻演習Ⅱ 卒業研究 A B P 卒業研究	担当者の入れ替えにより 平成29年度より担当 (29) 指導体制の充実を図るた め担当追加 (28)
専	助教	菌部 礼 (31)	平成28年4月	地域生態環境科学基 礎論 環境フィールドワー クⅠ 環境フィールドワー クⅡ 空間情報科学 地域生態環境科学プ レセミナー 地域生態環境科学セ ミナー 卒業研究 A B P 卒業研究	専	助教	菌部 礼 (32)	平成28年4月	フィールド科学演習 Ⅰ 地域生態環境科学基 礎論 環境リスク論 環境フィールドワー クⅠ 環境フィールドワー クⅡ 空間情報科学 地域生態環境科学プ レセミナー 地域生態環境科学セ ミナー 卒業研究 A B P 卒業研究	担当者の入れ替えのため 平成29年度より担当 (29)  指導体制の充実を図るた め担当追加 (29)

					兼任	教授	高坂哲也 (62)	平成29年4月	生命科学	クラスを分けて開講することにしたため担当追加 (29)
兼任	教授	瀧川雄一 (59)	平成29年4月	海外フィールドワーク 生物学実験	兼任	教授	瀧川雄一 (60)	平成29年4月	海外フィールドワーク 生物と環境 生物学実験	オムニバスで開講することにしたため担当追加 (29)
兼任	教授	朴 龍珠 (56)	平成28年4月	化学実験						
兼任	教授	木村洋子 (51)	平成28年4月	化学実験						
兼任	教授	原 正和 (47)	平成28年4月	化学実験						
兼任	教授	平井浩文 (46)	平成28年4月	新入生セミナー 遺伝子工学						
					兼任	准教授	茶山和敏 (57)	平成29年4月	生物と環境	オムニバスで開講することにしたため担当追加 (29)
兼任	准教授	村田健臣 (50)	平成28年4月	化学実験	兼任	准教授	村田健臣 (51)	平成28年4月	化学実験 生活の科学	クラスを分けて開講することにしたため担当追加 (29)
兼任	准教授	加藤竜也 (40)	平成28年4月	新入生セミナー 化学実験	兼任	准教授	加藤竜也 (41)	平成28年4月	新入生セミナー 化学実験 生活の科学	クラスを分けて開講することにしたため担当追加 (29)
兼任	准教授	笹浪知宏 (43)	平成28年4月	新入生セミナー	兼任	准教授	笹浪知宏 (44)	平成28年4月	新入生セミナー 生命科学	クラスを分けて開講することにしたため担当追加 (29)
兼任	助教	一家崇志 (35)	平成28年4月	フィールド科学演習 II	兼任	准教授	一家崇志 (36)	平成28年4月	フィールド科学演習 I フィールド科学演習 II	担当者の入れ替えにより 平成29年度より担当追加 (29) 29.4准教授に昇任 (29)
兼任	助教	崔 宰熏 (38)	平成28年4月	化学実験						
兼任	特任 准教授	藤本稯彦 (32)	平成28年4月	実践農学演習 I コミュニティ基礎論 実践農学演習 II 実践農学演習 III 農山村デザイン演習 I 農村資源計画学 農食連携インター シップ 農山村デザイン演習 II 農食コミュニティデ ザイン演習 フードマーケティング 論 コミュニティリー ダー論 卒業研究 A B P 卒業研究	専	准教授	藤本稯彦 (33)	平成28年10月	実践農学演習 I コミュニティ基礎論 実践農学演習 II 実践農学演習 III 農山村デザイン演習 I 農村資源計画学 農食連携インター シップ 農山村デザイン演習 II 農食コミュニティデ ザイン演習 フードマーケティング 論 コミュニティリー ダー論 卒業研究 A B P 卒業研究	平成28年10月 農学部准 教授就任 (29) 専任教員に就任したた め、担当科目を追加 (29)



									フィールド科学演習Ⅰ フィールド科学演習Ⅱ 生物と環境 植物バイオサイエンス実験Ⅲ 植物バイオサイエンスプレセミナー 植物バイオサイエンスセミナー 卒業研究 A B P 卒業研究	平成28年10月 農学部准教授就任(29)
									コミュニケーションリーダー論 卒業研究 A B P 卒業研究	平成28年10月 農学部准教授就任(29)
									植物バイオサイエンス実験Ⅲ 植物バイオサイエンスプレセミナー 植物バイオサイエンスセミナー 卒業研究 A B P 卒業研究	平成29年5月 農学部助教に就任(29)
兼担	教授	土屋 智(64)	平成29年10月	森林環境水文学						
兼担	教授	小南陽亮(54)	平成28年10月	生態学入門						
兼担	教授	栗原 誠(50)	平成28年4月	生活の科学 環境と科学	兼担	教授	栗原 誠(51)	平成28年4月	生活の科学 環境と科学 化学の世界	担当者入れ替えのため(29) クラスを分けて開講することにしたため担当追加(29)
兼担	准教授	八柳 祐一(45)	平成28年4月	生活の中の物理						
兼担	教授	鳥居 肇(51)	平成28年10月	数値解析基礎						
兼担	准教授	竹下温子(37)	平成29年10月	食のリスクマネジメント						
兼担	教授	鳥居 肇(51)	平成29年4月	水と空気と光の物理 化学						
兼担	教授	澤渡千枝(58)	平成29年4月	生活の科学 生活と防災の高分子科学	兼担	教授	澤渡千枝(59)	平成29年4月	生活の科学 生活と防災の高分子科学 化学の世界	担当者入れ替えのため(29) オムニバスで開講することにしたため担当追加(29)
兼任	講師	黒澤大陸(52)	平成29年10月	科学ジャーナリズム論						

兼任	講師	添田孝史 (51)	平成29年10月	科学ジャーナリズム論						
兼任	講師	市川 健 (60)	平成29年4月	植物医科学						
兼任	講師	後藤茂之 (61)	平成29年4月	環境リスク論						
兼任	講師	岡本正男 (68)	平成29年4月	技術者倫理						
兼任	講師	伊藤彰茂 (64)	平成28年4月	職業指導						
兼任	講師	石川政憲 (65)	平成29年4月	地質学概論						
兼任	准教授	皆田 潔 (40)	平成29年4月	コミュニティビジネス論	兼任	准教授	皆田 潔 (41)	平成29年4月	コミュニティビジネス論 フィールドワークⅠ フィールドワークⅡA フィールドワークⅡB フィールドワークⅢA フィールドワークⅢB 地域創造演習Ⅰ 地域創造演習ⅡA 地域創造演習ⅡB 地域創造演習ⅢA 地域創造演習ⅢB 地域創造演習ⅣA 地域創造演習ⅣB	指導体制の充実を図るため担当に追加(29)
					兼任	講師	飯倉清太 (47)	平成29年4月	コミュニティビジネス論	授業内容の充実のため担当追加(29)
兼任	講師	中村麻理 (48)	平成29年10月	フードマーケティング論	兼任	講師	中村麻理 (49)	平成29年10月	フードマーケティング論	
兼任	講師	服部麻子 (35)	平成29年10月	フードマーケティング論	兼任	講師	服部麻子 (36)	平成29年10月	フードマーケティング論	
兼任	講師	松本 博 (66)	平成29年10月	住環境工学						
兼任	講師	藤岡泰寛 (42)	平成29年10月	住居計画	兼任	講師	藤岡泰寛 (43)	平成29年4月	住居計画	講師の都合により開講学期を変更(29)
兼任	講師	西田幸夫 (66)	平成30年4月	建築防災						
兼任	講師	玉川一郎 (50)	平成30年10月	応用気象学						
兼任	講師	高木一滋 (51)	平成30年10月	設計製図 住環境設計製図演習						
兼任	講師	DEO VIPIN KUMAR (39)	平成30年10月	科学英語						
兼任	講師	秋津元輝 (56)	平成30年10月	フードシステムガバナンス論						
兼任	講師	坏 有恒 (59)	平成30年10月	フードシステムガバナンス論						

兼任	講師	太田 旭 (34)	平成30年10月	フードシステムガバナンス論						
兼任	講師	鈴木和樹 (34)	平成30年10月	フードシステムガバナンス論						
					兼任	講師	今井奈央子 (51)	平成30年10月	フードシステムガバナンス論	授業内容の充実のため担当追加 (29)
兼任	講師	望月耕太 (31)	平成28年4月	(中等) 教職入門Ⅰ (中等) 教職入門Ⅱ						
兼任	講師	島田桂吾 (33)	平成29年4月	(中等) 教育と社会						
兼任	講師	松尾由希子 (38)	平成29年4月	(中等) 教育の原理 教育課程の意義と編成の方法 教職実践演習						
兼任	講師	松沼光泰 (47)	平成29年4月	(中等) 発達と学習 教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。) 生徒指導 (進路指導の理論及び方法を含む。)						
兼任	教授	原田唯司 (61)	平成30年4月	教育相談						
兼任	教授	村越 真 (56)	平成30年4月	特別活動論	兼任	教授	村越 真 (57)	平成29年4月	特別活動論 健康体育Ⅰ	担当者入れ替えのため担当科目追加 (29)
兼任	教授	矢野 淳 (51)	平成31年4月	教育実習Ⅱ	兼任	教授	矢野 淳 (52)	平成28年4月	教育実習Ⅱ 英語演習Ⅰ 英語演習Ⅲ	英語科目部の中で担当者入れ替えを行ったため (29)
兼任	講師	名取一好 (68)	平成29年4月	農業科教育法Ⅰ 農業科教育法Ⅱ						
兼任	講師	伴野 学 (66)	平成30年10月	教育実習事前・事後指導						
兼任	教授	丹沢哲郎 (56)	平成29年4月	理科教育法Ⅲ						
兼任	講師	大鹿聖公 (48)	平成29年4月	理科教育法Ⅳ						
兼任	教授	森野和弥 (55)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語リーディングⅡ						
兼任	教授	白畑知彦 (58)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ	兼任	教授	白畑知彦 (59)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語演習Ⅲ	英語科目部の中で担当者入れ替えを行ったため (29)
兼任	准教授	松野和子 (37)	平成28年4月	英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ 英語リーディングⅠ 英語海外研修B	兼任	准教授	松野和子 (38)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ 英語リーディングⅠ 英語海外研修B アカデミックイングリッシュⅢ	英語科目部の中で担当者入れ替えを行ったため (29)
兼任	准教授	シェーファ (40)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語ライティングⅠ 英語ディスカッション	兼任	准教授	シェーファ (41)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語ライティングⅡ 英語ディスカッション アカデミックイングリッシュⅠ	英語科目部の中で担当者入れ替えを行ったため (29)
兼任	准教授	ユーリック (48)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ アカデミックイングリッシュⅡ 英語海外研修A 英語ディスカッション	兼任	准教授	ユーリック (49)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ アカデミックイングリッシュⅡ 英語海外研修A 英語ディスカッション	英語科目部の中で担当者入れ替えを行ったため (29)

兼任	講師	山本好比古 (41)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語演習 II 英語リーディング I ビジネスイングリッシュ	兼任	講師	山本好比古 (42)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語演習 II 英語リーディング A ビジネスイングリッシュ	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼任	講師	田中裕実 (42)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	兼任	講師	田中裕実 (43)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語ライティング I 英語リーディング II	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼任	講師	関静乃 (49)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語ライティング I 英語ライティング II	兼任	講師	関静乃 (50)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語ライティング I 英語ライティング II	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼任	講師	浜村葉子 (56)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	兼任	講師	浜村葉子 (57)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語ライティング I 英語ライティング II	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼任	講師	グローガー (60)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語ディスカッション	兼任	講師	グローガー (61)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語ライティング I 英語ディスカッション	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼任	講師	マックロー リー (46)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語ディスカッション						
兼任	講師	テkin ビンゴル (52)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語ライティング I	兼任	講師	テkin ビンゴル (53)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語ライティング I 英語ディスカッション	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼任	講師	ハリントン (60)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II						
兼任	講師	永倉由里 (59)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II						
兼任	講師	レッドフォード 賀代 子 (51)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II						
兼任	講師	大野千鶴 (68)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語リーディング I	兼任	講師	大野千鶴 (69)	平成28年10月	英語コミュニケーション I 英語リーディング I 英語リーディング II	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼任	講師	梅田泰 (42)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語演習 III	兼任	講師	梅田泰 (43)	平成28年10月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語ライティング I 英語演習 III	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼任	講師	辻直人 (52)	平成28年10月	英語コミュニケーション II 英語リーディング I	兼任	講師	辻直人 (53)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語リーディング I	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼任	講師	コルテス (61)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II						
兼任	講師	マガラクレン (48)	平成28年10月	英語コミュニケーション II	兼任	講師	マガラクレン (49)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語ディスカッション	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼任	教授	大村光弘 (49)	平成28年4月	英語演習 I						
兼任	教授	丸山修 (51)	平成28年4月	英語演習 I						
兼任	教授	熊谷滋子 (57)	平成28年4月	英語演習 I						
兼任	教授	厨子光政 (59)	平成28年4月	英語演習 I 英語演習 III						
兼任	教授	内田恵 (60)	平成28年10月	英語演習 III	兼任	教授	内田恵 (60)	平成28年4月	英語演習 I 英語演習 III	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (28)

兼任	准教授	河村道彦 (50)	平成28年4月	英語演習 I	兼任	准教授	河村道彦 (51)	平成28年4月	英語演習 I 英語リーディング II	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼任	助教	高瀬裕子 (34)	平成28年4月	英語演習 I 英語演習 II 基礎英語演習 英語インテンシブA 英語インテンシブB	兼任	助教	高瀬裕子 (35)	平成28年4月	英語演習 I 英語演習 II 基礎英語演習 英語インテンシブA 英語インテンシブB 英語コミュニケーション I 英語演習 III	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼任	講師	久保田育子 (59)	平成28年4月	英語演習 I 英語コミュニケーション II	兼任	講師	久保田育子 (60)	平成28年4月	英語演習 I 英語コミュニケーション II 英語リーディング II	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼任	講師	大村佳子 (46)	平成28年4月	英語演習 I 英語演習 III 英語リーディング II	兼任	講師	大村佳子 (47)	平成28年4月	英語演習 I 英語演習 II 英語演習 III 英語リーディング II	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼任	講師	向山守 (51)	平成28年4月	英語演習 I 英語リーディング I						
兼任	講師	新妻明子 (43)	平成28年4月	英語演習 I 英語コミュニケーション II						
兼任	講師	角谷裕子 (66)	平成28年4月	英語演習 I 英語コミュニケーション II						
兼任	講師	片岡洋子 (60)	平成28年4月	英語演習 I	兼任	講師	片岡洋子 (60)	平成28年10月	英語演習 I 英語演習 III	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (28)
兼任	准教授	亘理陽一 (36)	平成28年10月	英語リーディング II	兼任	准教授	亘理陽一 (37)	平成28年4月	英語演習 I 英語リーディング II	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
					兼任	教授	鈴木実佳 (54)	平成28年4月	英語演習 I 英語演習 III	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行い、平成28 年4月より就任 (28)
					兼任	准教授	山内功一郎 (48)	平成28年4月	英語演習 I 英語リーディング I	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行い、平成28 年4月より就任 (28)
兼任	講師	武田修一 (67)	平成28年4月	英語演習 I	兼任	講師	武田修一 (67)	平成28年4月	英語演習 I 英語演習 III	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (28)
兼任	講師	安藤博文 (41)	平成28年4月	英語演習 I						
兼任	講師	濱井節子 (68)	平成28年4月	英語演習 I						
兼任	講師	ゴードン (64)	平成28年10月	英語コミュニケーション II						
兼任	講師	ローズ (64)	平成28年10月	英語コミュニケーション II						
兼任	講師	加藤和美 (39)	平成29年4月	英語ライティング I						
兼任	講師	マークス グランドン (52)	平成29年4月	英語ライティング I	兼任	講師	マークス グランドン (52)	平成29年4月	英語ライティング I 英語ライティング II	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (28)
兼任	講師	深澤明利 (33)	平成29年4月	英語ライティング I						
兼任	講師	寺尾康 (57)	平成28年10月	英語リーディング I						
					兼任	講師	大瀧綾乃 (35)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語リーディング I 英語演習 III 英語ライティング II	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行い、平成28 年4月より就任 (28)
兼任	教授	熊谷滋子 (57)	平成28年10月	英語演習 III						

兼任	講師	トマス フォーブス (59)	平成29年4月	英語ライティングⅡ						
兼任	准教授	クレメンツ (48)	平成29年4月	英語ライティングⅡ						
					兼任	講師	法月アリス (55)	平成29年4月	英語ライティングⅡ	クラスを増やしたことにより平成29年4月より就任(29)
兼任	講師	坪本篤朗 (66)	平成28年10月	英語ライティングⅡ						
					兼任	教授	レッドフォード	平成28年10月	英語ディスカッション	英語科目部の中で担当者入れ替えを行い、平成28年10月より就任(28)
兼任	教授	原澤伊都夫 (61)	平成28年4月	英語海外研修A 日本語Ⅴ 日本事情						
兼任	教授	熊井浩子 (56)	平成28年4月	英語海外研修B 日本語Ⅰ						
兼任	講師	小柴 浩稔 (47)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ						
兼任	講師	藁島 洋子 (64)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ						
兼任	教授	城岡啓二 (59)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	兼任	教授	城岡 啓二 (60)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	担当者の入れ替えのため担当科目減(28)
兼任	准教授	大園 正彦 (45)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ	兼任	准教授	大園 正彦 (46)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	担当者の入れ替えのため担当科目追加(28)
兼任	准教授	トマス エケンベルク (54)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ 初修外国語Ⅰ	兼任	准教授	トマス エケンベルク (55)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ 初修外国語Ⅰ	平成28年3月退職
兼任	講師	バウムガルトナー (52)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	兼任	講師	バウムガルトナー (53)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	就任辞退のため担当者変更(28)
兼任	教授	浅野 幸生 (60)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ						
兼任	教授	安永 愛 (50)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ						
兼任	講師	青木 博子 (64)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ						
兼任	教授	江口 尚純 (54)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ						
兼任	講師	保坂 思芳 (43)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ						
兼任	講師	金 小賢 (58)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ						
兼任	講師	周 佩芳 (62)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ 初修外国語Ⅰ 健康体育Ⅰ 健康体育Ⅱ スポーツⅠ	兼任	講師	周 佩芳 (63)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ 初修外国語Ⅰ 健康体育Ⅰ 健康体育Ⅱ スポーツⅠ	担当者入れ替えのため担当科目減(29)

兼任	講師	黄 素英 (54)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	兼任	講師	黄 素英 (54)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	専任教員が担当することに 変更のため (28)
兼任	講師	有賀 祐子 (58)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ						
兼任	教授	花方 寿行 (47)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ						
兼任	准教授	大原 志麻 (41)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ						
兼任	講師	フロレス (37)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	兼任	講師	フロレス (38)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	担当者の入れ替えのため 担当科目減 (28)
兼任	講師	野内 遊 (41)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ						
兼任	教授	南 富鎮 (54)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ 初修外国語Ⅰ						
兼任	講師	石田 美智代 (49)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ						
兼任	講師	全 高香 (48)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ						
兼任	准教授	大友正広 (57)	平成28年10月	初修外国語入門Ⅱ	兼任	准教授	大友正広 (58)	平成28年10月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	担当者の入れ替えのため 担当科目追加 (28)
兼任	准教授	コルベイユ (37)	平成28年10月	初修外国語入門Ⅱ 初修外国語Ⅰ	兼任	准教授	コルベイユ (37)	平成28年10月	初修外国語入門Ⅱ 初修外国語Ⅰ	平成28年3月退職
兼任	講師	ジェン (39)	平成28年10月	初修外国語入門Ⅱ	兼任	講師	ジェン (39)	平成28年10月	初修外国語入門Ⅱ	時間割の調整のため担当 者変更 (28)
					兼任	講師	大澤隆幸 (69)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	平成28年4月より就任 (28)
					兼任	講師	森 治 (70)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ 初修外国語Ⅰ	平成28年4月より就任 (28)
					兼任	教授	今野喜和人 (62)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ	平成28年4月より就任 (28)
					兼任	講師	ジャイ ユウ (43)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	平成28年4月より就任 (28)
					兼任	講師	増井実子 (51)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ	平成28年4月より就任 (28)
					兼任	講師	トロスト バーバラ (56)	平成28年10月	初修外国語入門Ⅱ	平成28年10月より就任 (28)

					兼任	講師	ロジェ ヴォ ルス (69)	平成28年10月	初修外国語入門Ⅱ	平成28年10月より就任 (28)
					兼任	講師	稲田晴年 (69)	平成28年10月	初修外国語入門Ⅱ	平成28年10月より就任 (28)
					兼任	教授	埋田重夫 (60)	平成28年10月	初修外国語入門Ⅱ	平成28年10月より就任 (28)
					兼任	教授	桑島道夫 (50)	平成28年10月	初修外国語入門Ⅱ	平成28年10月より就任 (28)
兼任	講師	岩崎 ラファ エリーナ (61)	平成29年4月	初修外国語Ⅰ	兼任	講師	岩崎 ラファ エリーナ (62)	平成28年10月	初修外国語入門Ⅱ 初修外国語Ⅰ	担当者入れ替えのため担 当科目追加 (28)
					兼任	講師	鄭 泰元 (42)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	平成28年10月より就任 (28)
兼任	講師	王 元武 (67)	平成29年4月	初修外国語Ⅰ						
兼任	教授	田村充正 (60)	平成29年4月	初修外国語Ⅰ	兼任	教授	田村充正 (61)	平成29年4月	初修外国語Ⅰ	担当者入れ替えのため (29)
					兼任	講師	矢田 ドミニ ク (55)	平成29年4月	初修外国語Ⅰ	平成29年4月より就任 (28)
兼任	教授	杉山 康司 (52)	平成28年4月	健康体育Ⅰ スポーツⅠ スポーツⅡ	兼任	教授	杉山 康司 (53)	平成28年10月	健康体育Ⅰ 健康体育Ⅱ スポーツⅠ スポーツⅡ	担当者入れ替えのため担 当科目減 (29)
兼任	教授	中野 美恵子 (63)	平成28年4月	健康体育Ⅰ 健康体育Ⅱ	兼任	教授	中野 美恵子 (63)	平成28年4月	健康体育Ⅰ 健康体育Ⅱ	平成29年3月退職 (29)
兼任	教授	吉田 和人 (54)	平成28年4月	健康体育Ⅰ 健康体育Ⅱ	兼任	教授	吉田 和人 (55)	平成28年4月	健康体育Ⅰ 健康体育Ⅱ スポーツⅡ	担当者入れ替えのため担 当科目減 (29) 担当者入れ替えのため担 当科目減 (28) 担当者入れ替えのため担 当科目追加 (29)
兼任	准教授	野津一浩 (44)	平成28年4月	健康体育Ⅰ	兼任	准教授	野津一浩 (45)	平成28年10月	健康体育Ⅰ 健康体育Ⅱ	担当者入れ替えのため担 当科目変更 (29)
兼任	講師	村野 直弘 (56)	平成28年4月	健康体育Ⅰ 健康体育Ⅱ						
兼任	講師	宮原 時彦 (48)	平成28年4月	健康体育Ⅰ	兼任	講師	宮原時彦 (49)	平成28年4月 平成29年10月	健康体育Ⅰ スポーツⅡ	担当者入れ替えのため (28) 担当者入れ替えのため (29)
					兼任	講師	杉山卓也 (44)	平成28年4月	健康体育Ⅰ	担当者入れ替えのため平 成28年4月より就任 (28)



兼任	講師	辻川比呂斗 (38)	平成28年10月	健康体育Ⅱ	兼任	講師	辻川比呂斗 (39)	平成28年4月	健康体育Ⅰ 健康体育Ⅱ	担当者入れ替えのため担 当科目追加 (28)
兼任	講師	瀧本厚子 (57)	平成28年10月	健康体育Ⅱ	兼任	講師	瀧本厚子 (58)	平成28年4月	健康体育Ⅰ 健康体育Ⅱ	担当者入れ替えのため担 当科目変更 (29)
兼任	教授	岡端 隆 (52)	平成28年10月	健康体育Ⅱ	兼任	教授	岡端 隆 (52)	平成28年10月	健康体育Ⅱ	担当者の変更のため (28)
					兼任	講師	山崎朱音 (32)	平成28年10月	健康体育Ⅱ	平成28年10月就任 (28)
					兼任	講師	芹沢幹雄 (68)	平成28年10月	健康体育Ⅱ	平成28年10月就任 (28)
兼任	講師	今野 守 (68)	平成29年4月	スポーツⅠ スポーツⅡ						
兼任	講師	菊本智之 (51)	平成29年4月	スポーツⅠ スポーツⅡ						
兼任	講師	高根信吾 (43)	平成29年4月	スポーツⅠ						
兼任	准教授	赤田信一 (49)	平成29年10月	スポーツⅡ	兼任	准教授	赤田信一 (49)	平成29年10月	スポーツⅡ	担当者の変更のため (29)
					兼任	講師	齋藤 剛 (43)	平成29年10月	スポーツⅡ	平成29年10月就任 (29)
兼任	教授	白井靖人 (54)	平成29年4月	A B Pインター シップ						
					兼任	特任教 授	野澤義明	平成29年4月	A B Pインター シップ	平成29年4月就任 (29)
兼任	准教授	太田隆之 (37)	平成28年10月	フィールドワークⅠ フィールドワークⅡ A フィールドワークⅡ B フィールドワークⅢ A フィールドワークⅢ B 地域創造演習Ⅰ 地域創造演習ⅡA 地域創造演習ⅡB 地域創造演習ⅢA 地域創造演習ⅢB 地域創造演習ⅣA 地域創造演習ⅣB						

兼担	教授	江口昌克 (51)	平成28年10月	フィールドワーク I フィールドワーク II A フィールドワーク II B フィールドワーク III A フィールドワーク III B 地域創造演習 I 地域創造演習 II A 地域創造演習 II B 地域創造演習 III A 地域創造演習 III B 地域創造演習 IV A 地域創造演習 IV B					
兼担	准教授	山本崇記 (36)	平成28年10月	フィールドワーク I フィールドワーク II A フィールドワーク II B フィールドワーク III A フィールドワーク III B 地域創造演習 I 地域創造演習 II A 地域創造演習 II B 地域創造演習 III A 地域創造演習 III B 地域創造演習 IV A 地域創造演習 IV B					
兼担	准教授	渡邊英理 (41)	平成28年10月	フィールドワーク I フィールドワーク II A フィールドワーク II B フィールドワーク III A フィールドワーク III B 地域創造演習 I 地域創造演習 II A 地域創造演習 II B 地域創造演習 III A 地域創造演習 III B 地域創造演習 IV A 地域創造演習 IV B					
兼担	教授	平岡義和 (62)	平成28年10月	フィールドワーク I フィールドワーク II A フィールドワーク II B フィールドワーク III A フィールドワーク III B 地域創造演習 I 地域創造演習 II A 地域創造演習 II B 地域創造演習 III A 地域創造演習 III B 地域創造演習 IV A 地域創造演習 IV B					
兼担	教授	水谷洋一 (53)	平成28年10月	フィールドワーク I フィールドワーク II A フィールドワーク II B フィールドワーク III A フィールドワーク III B 地域創造演習 I 地域創造演習 II A 地域創造演習 II B 地域創造演習 III A 地域創造演習 III B 地域創造演習 IV A 地域創造演習 IV B					
兼担	教授	岩田孝仁 (62)	平成28年10月	フィールドワーク I フィールドワーク II A フィールドワーク II B フィールドワーク III A フィールドワーク III B 地域創造演習 I 地域創造演習 II A 地域創造演習 II B 地域創造演習 III A 地域創造演習 III B 地域創造演習 IV A 地域創造演習 IV B					

兼担	教授	白井嘉尚 (62)	平成28年10月	フィールドワーク I フィールドワーク II A フィールドワーク II B フィールドワーク III A フィールドワーク III B 地域創造演習 I 地域創造演習 II A 地域創造演習 II B 地域創造演習 III A 地域創造演習 III B 地域創造演習 IV A 地域創造演習 IV B						
兼担	教授	河合 学 (59)	平成28年10月	フィールドワーク I フィールドワーク II A フィールドワーク II B フィールドワーク III A フィールドワーク III B 地域創造演習 I 地域創造演習 II A 地域創造演習 II B 地域創造演習 III A 地域創造演習 III B 地域創造演習 IV A 地域創造演習 IV B						
兼担	准教授	祝原 豊 (43)	平成28年10月	フィールドワーク I フィールドワーク II A フィールドワーク II B フィールドワーク III A フィールドワーク III B 地域創造演習 I 地域創造演習 II A 地域創造演習 II B 地域創造演習 III A 地域創造演習 III B 地域創造演習 IV A 地域創造演習 IV B						
兼担	講師	村田真一 (37)	平成28年10月	フィールドワーク I フィールドワーク II A フィールドワーク II B フィールドワーク III A フィールドワーク III B 地域創造演習 I 地域創造演習 II A 地域創造演習 II B 地域創造演習 III A 地域創造演習 III B 地域創造演習 IV A 地域創造演習 IV B	兼担	講師	村田真一 (38)	平成28年10月	健康体育 I フィールドワーク I フィールドワーク II A フィールドワーク II B フィールドワーク III A フィールドワーク III B 地域創造演習 I 地域創造演習 II A 地域創造演習 II B 地域創造演習 III A 地域創造演習 III B 地域創造演習 IV A 地域創造演習 IV B	担当者入れ替えのため担 当科目追加 (28)
					兼担	教授	横山義昭 (64)	平成28年10月	フィールドワーク I フィールドワーク II A フィールドワーク II B フィールドワーク III A フィールドワーク III B 地域創造演習 I 地域創造演習 II A 地域創造演習 II B 地域創造演習 III A 地域創造演習 III B 地域創造演習 IV A 地域創造演習 IV B	指導体制の充実を図るた め担当教員に就任 (29)
					兼担	准教授	井原麗奈 (37)	平成28年10月	フィールドワーク I フィールドワーク II A フィールドワーク II B フィールドワーク III A フィールドワーク III B 地域創造演習 I 地域創造演習 II A 地域創造演習 II B 地域創造演習 III A 地域創造演習 III B 地域創造演習 IV A 地域創造演習 IV B	指導体制の充実を図るた め担当教員に就任 (29)

兼担	准教授	須藤 智 (38)	平成28年10月	キャリアデザイン 心理学						
兼担	准教授	堂園俊彦 (41)	平成29年4月	哲学						
兼担	教授	藤井真生 (42)	平成29年4月	歴史と文化						
					兼担	教授	黒川みどり (58)	平成29年4月	歴史と文化	クラス増加のため平成29年4月就任(29)
兼担	准教授	森本隆子 (54)	平成29年4月	ことばと表現	兼担	准教授	森本隆子 (54)	平成29年4月	ことばと表現	担当者変更のため(29)
					兼担	准教授	中村ともえ (38)	平成29年4月	ことばと表現	担当者変更により平成29年4月就任(29)
兼任	講師	南 利明 (70)	平成29年4月	日本国憲法						
					兼任	講師	藤田憲一 (68)	平成29年4月	日本国憲法	クラス増加のため平成29年4月就任(29)
					兼担	教授	板倉美奈子 (53)	平成29年4月	日本国憲法	クラス増加のため平成29年4月就任(29)
兼担	教授	阿波連正一 (63)	平成29年4月	法と社会						
					兼担	教授	橋本誠一 (60)	平成29年4月	法と社会	クラス増加のため平成29年4月就任(29)
兼担	准教授	西野 肇	平成29年4月	経済と社会	兼担	准教授	西野 肇	平成29年4月	経済と社会	担当者変更のため(29)
					兼担	教授	色川卓男 (56)	平成29年4月	経済と社会	クラス増加のため平成29年4月就任(29)
					兼担	准教授	高松慶裕 (35)	平成29年4月	経済と社会	クラス増加のため平成29年4月就任(29)
					兼担	准教授	鈴木拓也 (40)	平成29年4月	経済と社会	クラス増加のため平成29年4月就任(29)
					兼担	准教授	中川訓範 (44)	平成29年4月	経済と社会	クラス増加のため平成29年4月就任(29)
兼担	教授	鈴木 宏尚 (43)	平成29年4月	現代の社会						
					兼担	教授	石原 剛志 (48)	平成29年4月	現代の社会	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任(29)
					兼担	教授	冬木 春子 (47)	平成29年4月	現代の社会	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任(29)
					兼担	教授	小川 裕子 (61)	平成29年4月	現代の社会	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任(29)
					兼担	准教授	雨森 聡 (39)	平成29年4月	現代の社会	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任(29)
					兼担	准教授	吉田 崇 (42)	平成29年4月	現代の社会	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任(29)
					兼担	教授	白井千晶 (46)	平成29年4月	現代の社会	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任(29)
					兼担	准教授	山本崇記 (37)	平成29年4月	現代の社会	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任(29)
					兼担	教授	荻野達史 (48)	平成29年4月	現代の社会	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任(29)
					兼担	准教授	橋本 剛 (45)	平成29年4月	心理学	クラス増加のため平成29年4月就任(29)
兼担	准教授	佐藤正志 (33)	平成29年4月	地域と文化	兼担	准教授	佐藤正志 (34)	平成29年4月	地域と文化	担当者変更のため(29)

					兼任	教授	池田恵子 (50)	平成29年4月	地域と文化	クラス増加のため平成29年4月就任(29)
					兼任	准教授	長沼さやか (40)	平成29年4月	地域と文化	クラス増加のため平成29年4月就任(29)
兼任	准教授	長谷川 慎 (48)	平成29年4月	芸術論						
兼任	講師	四之宮佳彦 (30)	平成29年4月	数学の世界	兼任	講師	四之宮佳彦 (30)	平成29年4月	数学の世界	就任辞退のため担当者変更(29)
					兼任	教授	山田耕三 (58)	平成29年4月	数学の世界	兼任教員辞退のため、後任に就任(29)
兼任	准教授	依岡輝幸 (38)	平成29年4月	数理の構造 数学概論A 数学概論B	兼任	准教授	依岡輝幸 (39)	平成29年4月	数理の構造 数学概論A 数学概論B	担当者入れ替えのため担当科目変更(29)
					兼任	教授	鈴木 信行 (55)	平成29年4月	数理の構造	平成29年4月就任(29)
兼任	准教授	嶋田大介 (52)	平成29年4月	物理の世界 物理学実験	兼任	准教授	嶋田大介 (52)	平成29年4月	物理の世界 物理学実験	担当者入れ替えのため変更(29)
					兼任	教授	山崎昌一 (58)	平成29年4月	物理の世界	担当者の入れ替えのため(29)
兼任	教授	佐藤信一 (58)	平成29年4月	自然と物理						
兼任	教授	小林健二 (53)	平成29年4月	化学の世界						
					兼任	教授	関根理香 (54)	平成29年4月	化学の世界	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任(29)
					兼任	講師	守谷 誠 (39)	平成29年4月	化学の世界	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任(29)
兼任	教授	岡林利明 (51)	平成29年4月	生活の科学	兼任	教授	岡林利明 (51)	平成29年4月	生活の科学	担当者入れ替えのため(29)
兼任	教授	板垣秀幸 (61)	平成29年4月	生活の科学	兼任	教授	板垣秀幸 (62)	平成29年4月	化学の世界 生活の科学	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任(29) 担当者入れ替えのため(29)
					兼任	教授	山本 歩 (54)	平成29年4月	生活の科学	クラス増加のため平成29年4月就任(29)
					兼任	准教授	塚田直史 (47)	平成29年4月	生活の科学	クラス増加のため平成29年4月就任(29)
兼任	講師	森 誠 (68)	平成29年4月	生命科学						
兼任	准教授	徳岡 徹 (47)	平成29年4月	生物と環境						
					兼任	教授	藤原健智 (55)	平成29年4月	生物と環境	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任(29)
					兼任	准教授	天野豊己 (49)	平成29年4月	生物と環境	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任(29)
					兼任	准教授	栗井光一郎 (45)	平成29年4月	生物と環境	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任(29)
兼任	准教授	原田賢治 (41)	平成29年4月	地球科学						
兼任	准教授	鈴木雄太郎 (44)	平成29年4月	進化と地球環境						
兼任	教授	藤井道彦 (52)	平成29年4月	科学と技術						
					兼任	教授	廣本宣久 (62)	平成29年4月	科学と技術	クラス増加のため平成29年4月就任(29)

					兼任	教授	田中 繁一 (57)	平成29年4月	科学と技術	クラス増加のため平成29年4月就任 (29)
					兼任	教授	安村 基 (65)	平成29年5月	科学と技術	クラス増加のため平成29年4月就任 (29)
兼任	教授	宇都宮裕章 (47)	平成28年4月	日本語Ⅱ	兼任	教授	宇都宮裕章 (48)	平成28年4月	日本語Ⅱ 日本語Ⅵ	担当予定の教員が退職したため後任として担当科目追加 (29)
兼任	特任助教	名塩征史 (38)	平成28年10月	日本語Ⅲ A B P基礎日本語Ⅳ A B P基礎日本語Ⅷ	兼任	特任助教	名塩征史 (39)	平成28年10月	日本語Ⅲ A B P基礎日本語Ⅳ A B P基礎日本語Ⅷ	平成28.10入学生が1名だったため、浜松キャンパスで初期教育を実施することになり、担当科目減 (29)
兼任	教授	矢崎満夫 (54)	平成28年10月	日本語Ⅳ	兼任	教授	矢崎満夫 (55)	平成28年10月	日本語Ⅳ	29.3退職
兼任	准教授	案野香子 (47)	平成29年10月	日本語Ⅵ	兼任	准教授	案野香子 (48)	平成29年10月	日本語Ⅵ	担当者入れ替えのため (29)
兼任	講師	若井健太郎 (47)	平成28年4月	数学概論A 数学概論B	兼任	講師	若井健太郎 (48)	平成28年4月	数学概論A 数学概論B	担当者入れ替えのため担当科目減 (28)
					兼任	教授	松本敏隆 (54)	平成28年4月	数学概論A	担当者入れ替えのため就任 (28)
					兼任	講師	待田芳徳 (66)	平成28年10月	数学概論B	担当者入れ替えのため就任 (28)
兼任	講師	嘉規香織 (55)	平成28年10月	物理学概論B						
兼任	准教授	海老原孝雄 (49)	平成28年10月	物理学実験						
兼任	准教授	岡 俊彦 (43)	平成28年10月	物理学実験	兼任	准教授	岡 俊彦 (44)	平成28年10月	物理学実験	担当者入れ替えのため (28)

- (注)
- 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
15	21	0	7	43	12	23	0	6	41	15	21	0	7	43
( 12 )	( 19 )	( 0 )	( 6 )	( 37 )						[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし				
合計（A）				後任補充状況の集計（B）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				
合計（C）				後任補充状況の集計（D）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）		後任補充状況の集計（B）+（D）				
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。



(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成27年7月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<農学部 生物資源科学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	該当なし (29)

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

- ① 実施体制
- a 委員会の設置状況  
静岡大学大学院農学領域FD委員会
- b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）  
平成28年度は6回開催し延べ151人の参加があった。
- c 委員会の審議事項等  
・ 農学領域・農学部及び農学専攻の教育内容・授業方法の改善のための調査・研究に関する事項  
・ 事業計画等学部教育の研究開発に関する事項
- ② 実施状況
- a 実施内容  
・ 教育カリキュラム委員会開催（具体的な教育の進めかたに関する意見交換 3つのポリシーの見直し、カリキュラムツリーの作成についても議論した。）  
・ 教職員参加の研修会開催
- b 実施方法  
・ 教育カリキュラム委員会は委員が集まり、意見交換を行う。  
・ 教職員参加の研修会は外部講師を招き、講演と質疑応答を行った。  
・ 学科会議は所属教員が集まり意見交換を行う。
- c 開催状況（教員の参加状況含む）  
・ 教育カリキュラム委員会は12名の委員が出席する。28年度は3回の開催  
・ 教職員参加の研修会は教授会前に時間をとり開催した。28年度は2回の開催  
・ 学科会議は所属教員があつまりFDに関することを審議した。28年度は1回の開催
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  
・ 学生の授業内容の理解のため、コース分属やカリキュラム内容を説明する場を設けた。  
・ 学生にコメントペーパーを配布し、意見を授業に取り入れている。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期  
・ 実施している 実施時期は前期後期各1回
- b 教員や学生への公開状況, 方法等  
・ アンケート結果は教員個人に送られる。アンケート結果について教員自身の意見をまとめ、Webに公開している。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置計画の概要に記されている新設学部において養成する人材像に基づき、学生募集と講義の実施が行われており、概ね順調に進んでいる。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・平成30年度中に自己評価を実施し、平成31年度前半に自己評価報告書を公表予定

##### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

・平成33年度に大学機関別認証評価（評価機関は未定）を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

##### a ホームページに公表の有無

(  有 ・  無 )

##### b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 平成29年 7月 1日 )

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 静岡大学

## (2) 大学名

静岡大学

## (3) 大学の位置

〒422-8529  
静岡県静岡市駿河区大谷836番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(イトウ ユキヒロ) 伊東幸宏 (平成22年4月1日)	(イシイ キヨシ) 石井 潔 (平成29年4月1日)	変更理由：任期満了 変更日：平成29年4月1日 (29)
学部長	(カワイ シンゴ) 河合真吾 (平成28年4月1日)		
学科長	(ヒライ ヒロフミ) 平井浩文 (平成28年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
農学部 応用生命科学科 学士(農学)	農学関係	4年	70人	3年次 3人	286人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	70 ( - ) [ - ]		70 ( - ) [ - ]						1.06倍	
志願者数	446 ( - ) [ - ]	11 ( - ) [ 11 ]	256 ( - ) [ - ]							
受験者数	295 ( - ) [ - ]	11 ( - ) [ 11 ]	156 ( - ) [ - ]							
合格者数	80 ( - ) [ - ]	1 ( - ) [ 1 ]	81 ( - ) [ - ]							
B 入学者数	75 ( - ) [ - ]	1 ( - ) [ 1 ]	73 ( - ) [ - ]							
入学定員超過率 B/A	1.08		1.04							

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	75 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	73 [ - ] ( - )	1 [ 1 ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	平成29年度春季入学の2年次 在籍者数75名には、平成29 年4月に工学部化学バイオ工 学科から転学部した平成28 年春季入学者1名を含む。 (29)
2年次	/		75 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次	/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
4年次	/		/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	
計	75 [ - ] ( - )		149 [ 1 ] ( - )		[ ] ( )		[ ] ( )		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	76 人	1 人	平成28年度	1 人	人	進路変更のため	1.31 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	73 人	0 人	平成29年度	0 人	人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		%
合 計	149 人	1 人					0.67 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他



## 2 授業科目の概要

<農学部 応用生命科学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
新入生セミナー	新入生セミナー	1前		2		1 2	2 1			2	兼 7 専任教員がローテーションで担当のため(29) クラス分けを変更したため、教員を追加(28)
	情報処理	1前		2		1	1				兼 4 クラス分けを変更したため、教員を追加(29)
教養科目	英語コミュニケーション I	1前	1								兼 18 22 クラス分けを変更したため(29)
	英語演習 I	1前		1							兼 12 14 クラス分けを変更したため(29)
	基礎英語演習	1後		1							兼 1 17 設置計画時に誤って教員数を入力してしまったため(29)
	英語コミュニケーション II	1後		1							兼 17 7 クラス分けの方法を大きく変更したため(29)
	英語演習 II	1後・2前		1							兼 3 5 クラス分けを変更したため(29)
	英語ライティング I	2前・後		1							兼 3
	英語リーディング I	1後・2前		1							兼 3 6 クラス分けを変更したため(29)
	英語演習 III	1後・2前・2後		2							兼 4 6 クラス分けを変更したため(29)
	英語ライティング II	2前・後		2							兼 4 3 クラス分けを変更したため(29)
	英語リーディング II	1後・2前・2後		2							兼 5 6 クラス分けを変更したため(29)
	英語ディスカッション	1後・2前		2							兼 4 6 クラス分けを変更したため(29)
	英語インテンシブ A	1後		2							兼 2 1 クラス分けを変更したため(29)
	英語インテンシブ B	2前		2							兼 1
	アカデミックイングリッシュ I	2後		2							兼 1 集中開講に変更(29)
	アカデミックイングリッシュ II	2後		2							兼 1
	アカデミックイングリッシュ III	2後		2							兼 1 集中開講に変更(29)
	ビジネスイングリッシュ	3後		2							兼 1
	英語海外研修 A	1前		2							兼 2 1 クラスを分けて開講することにしたため(29)
	英語海外研修 B	1前		2							兼 2 1 クラスを分けて開講することにしたため(29)
	基軸教育科目	初修外国語入門 I	1前	1							
初修外国語入門 II		1後		1							兼 22
初修外国語 I		2前		2							兼 7
初修外国語 II		2後		2							兼 6
初修外国語 III		3前		2							兼 6
初修外国語 IV		3後		2							兼 6
健康	健康体育 I	1前		1							兼 6 7 クラス分けを変更したため(29)
	健康体育 II	1後		1							兼 6 7 クラス分けを変更したため(29)

教 養 科 目	体 育	スポーツ I	2前	1					兼 5		
		スポーツ II	2後	1					兼 5 4	クラス分けを変更したため(29)	
	フ ィ ー ル ド ワ ー ク	フィールド科学演習 I	1通	2		+	1		+	兼 14 10	専任教員が准教授に昇任(29) グループを細分化し、各グループに 指導教員を配置のため追加(28) 共同・オムニバス
		フィールド科学演習 II	1通	1		+	1		+	兼 14 16 5	専任教員が准教授に昇任(29) 授業内容をより充実するため教員を 追加(28) 集中
		A B Pインターンシップ	2・3通	2						兼 2 1	指導体制充実のため(29) 集中・A B P留学生の必修科目
		フィールドワーク I	1後	1						兼 14 11	指導体制の充実のため(29)
		フィールドワーク II A	2前	1						兼 14 11	指導体制の充実のため(29)
		フィールドワーク II B	2後	1						兼 14 11	指導体制の充実のため(29)
		フィールドワーク III A	3前	1						兼 11	
		フィールドワーク III B	3後	1						兼 11	
		地域創造演習 I	1後	2						兼 13 11	指導体制の充実のため(29)
		地域創造演習 II A	2前	2						兼 13 11	指導体制の充実のため(29)
		地域創造演習 II B	2後	2						兼 13 11	指導体制の充実のため(29)
		地域創造演習 III A	3前	2						兼 11	
		地域創造演習 III B	3後	2						兼 11	
		地域創造演習 IV A	4前	3						兼 11	
	地域創造演習 IV B	4後	3						兼 11		
	キ ャ リ ア 形 成 科 目	キャリアデザイン	1後	2						兼 1	
	個 別 分 野 科 目	哲学	2前・後	2						兼 1	
		歴史と文化	2前・後	2						兼 2 1	クラスを分けて開講することにした ため(29)
ことばと表現		2前・後	2						兼 1		
日本国憲法		2前・後	2						兼 3 1	クラスを分けて開講することにした ため(29)	
法と社会		2前・後	2						兼 2 1	クラスを分けて開講することにした ため(29)	
経済と社会		2前・後	2						兼 4 1	クラスを分けて開講することにした ため(29)	
国際社会と日本		2前・後	2						兼 1	担当を予定していた教員が産休に入 り、代替教員を準備できなかったた め未開講(29) グローバル化に対応するため科目を 追加(28)	
現代の社会		2前・後	2						兼 9 1	オムニバスで行うこととしたため (29)	
心理学		2前・後	2						兼 2 1	クラスを分けて開講することにした ため(29)	
地域と文化		2前・後	2						兼 2 1	クラスを分けて開講することにした ため(29)	
芸術論		2前・後	2						兼 1		
現 代 教 養		数学の世界	2前・後	2						兼 1	
		数理の構造	2前・後	2						兼 2 1	クラスを分けて開講することにした ため(29)
	物理の世界	2前・後	2						兼 1		

教 養 科 目	科目	自然と物理	2前・後	2						兼 1		
		化学の世界	2前・後	2						兼 6 オムニバスで行うことにしたため (29)		
		生活の科学	2前・後	2			2			兼 2 クラスを分けて開講することにしたため (29)		
		生命科学	2前・後	2		1	1			兼 3 クラスを分けて開講することにしたため (29)		
		生物と環境	2前・後	2		1	1			兼 7 クラスを分け、オムニバスで開講することにしたため (29)		
		地球科学	2前・後	2						兼 1		
		進化と地球環境	2前・後	2						兼 1		
		科学と技術	2前・後	2						兼 4 クラスを分けて開講することにしたため (29)		
		学際科目	テーマ「国際・地域」		2						兼 1	
			テーマ「環境・自然」		2						兼 1	
			テーマ「現代社会」	1・2・3前・後	2						兼 1	
			テーマ「生命・人間」		2						兼 1	
			テーマ「科学・技術」		2						兼 1	
												年度の初めに、各テーマに沿った授業科目名を发表する。
		日本語	日本語 I	1前	2						兼 1	留学生以外履修不可
			日本語 II	1前	2						兼 1	留学生以外履修不可
			日本語 III	1後	2						兼 1	留学生以外履修不可
			日本語 IV	1後	2						兼 1	留学生以外履修不可
			日本語 V	2前	2						兼 1	留学生以外履修不可
			日本語 VI	2後	2						兼 1	留学生以外履修不可
		日本事情	日本事情	1後	2						兼 1	
		留学生科目	A B P 基礎日本語 I	1後	1						兼 1	A B P 留学生の必修科目
			A B P 基礎日本語 II	1後	1						兼 1	A B P 留学生の必修科目
			A B P 基礎日本語 III	1後	1						兼 1	A B P 留学生の必修科目
			A B P 基礎日本語 IV	1後	1						兼 1	A B P 留学生の必修科目
		基礎日本語	A B P 基礎日本語 V	1後	1						兼 1	A B P 留学生の必修科目
			A B P 基礎日本語 VI	1後	1						兼 1	A B P 留学生の必修科目
			A B P 基礎日本語 VII	1後	1						兼 1	A B P 留学生の必修科目
			A B P 基礎日本語 VIII	1後	1						兼 1	A B P 留学生の必修科目
		A B P 基礎日本語 IX	1後	1						兼 1	A B P 留学生の必修科目	
		A B P 基礎日本語 X	1後	1						兼 1	A B P 留学生の必修科目	

教養科目	教職教養科目	(中等) 教育の原理	2前・後	2						兼 1				
	教職等資格科目	(中等) 発達と学習	2前・後	2						兼 1				
専門科目	理系基礎科目	数学概論	1前	2							兼 1			
		統計学	1後	2							兼 1			
		物理学概論	1前	1							兼 1			
		化学概論	1前	1		1								
		物理化学1A	1前	1		1								
		物理化学2A	1前	1		1								
		物理化学1B	1後	2		1	1							
		物理化学2B	1後	2		1	1							
		生物学A	1前	2							兼 1			
		生物学B	1後	2			1				兼 1	オムニバス		
		生物学実験	1通	1		1					兼 11	オムニバス		
		化学実験	1前	1		3	2		1		兼 4	オムニバス		
		A B P 基礎数学	1後	1							兼 1	A B P 留学生の必修科目		
		A B P 基礎物理学	1後	1							兼 1	A B P 留学生の必修科目		
		A B P 基礎化学	1後	1							兼 1	A B P 留学生の必修科目		
		A B P 基礎生物学	1後	1							兼 1	A B P 留学生の必修科目		
		専門科目	農学基礎科目	農学基礎論	1前	1							兼 1	
				植物バイオサイエンス基礎論	1後	1							兼 12	オムニバス
木質科学基礎論	1後			1							兼 7	オムニバス		
地域生態環境科学基礎論	1後			1							兼 8	オムニバス		
コミュニティ基礎論	1後			1							兼 3	高度な専門性をもち教員の分担割合を高めた(28)		
応用生命科学基礎論	1後			1		6	2				兼 6	オムニバス 高度な専門性をもち教員の分担割合を高めた(28) オムニバス 専任教員がローテーションで担当のため(29)		
専門科目	学科必修科目	基礎微生物学	1後	2		1	3	2		0		担当教員准教授昇任のため(28) オムニバス		
		分析化学1	2前	2		2						オムニバス		
		有機化学	2前	2		1								
		生化学A	2前	2		1								
		細胞生物学	2前	2			1							
		分子生物学	2前	2			1							
		生化学B	2後	2		1								
		実用科学英語1	3前	2								兼 1		
		実用科学英語2	3後	1		14	10	8	7		4	5	担当教員2名が准教授昇任のため(29) 助教2名が就任(28) 担当教員准教授昇任のため(28)	

学科必修科目	応用生命科学実験1	2前	2		14	10 8 7		4 5	担当教員2名が准教授昇任のため(29) 助教2名が就任(28) 担当教員准教授昇任のため(28)			
	応用生命科学実験2	2後	2		14	10 8 7		4 5	担当教員2名が准教授昇任のため(29) 助教2名が就任(28) 担当教員准教授昇任のため(28)			
	応用生命科学実験3	3前	2		14	10 8 7		4 5	担当教員2名が准教授昇任のため(29) 助教2名が就任(28) 担当教員准教授昇任のため(28)			
	卒業研究	4通		6	14	10 8 7		4 5	担当教員2名が准教授昇任のため(29) 助教2名が就任(28) 担当教員准教授昇任のため(28)			
	A B P 卒業研究	4前		3	14	10 8 7		4 5	担当教員2名が准教授昇任のため(29) 助教2名が就任(28) 担当教員准教授昇任のため(28)			
専門科目	学科選択科目	分析化学2	2後		2		1	1		オムニバス		
		生物有機化学	2後		2		1	1		オムニバス		
		遺伝子工学	2後		2		1					
		植物生理学	2後		2		1					
		動物生理学	2後		2				1			
		遺伝学	2後		2			1			担当教員が副学長に就任したため、 負担軽減により非常勤講師を採用 (29)	
		動物機能学	2後		2				1			
		応用微生物学	2後		2				2 1	1	担当教員准教授昇任のため(28) オムニバス	
		分子細胞生物学	3前		2		1		1		オムニバス	
		栄養化学	3前		2		1					
		分子生物工学	3前		2		1					
		植物栄養学	3前		2		1					
		ゲノム育種工学	3前		2		1					
		動物生命科学	3前		2		1					
		食品衛生学	3前		2						兼 1 隔年・集中	
		環境衛生学	3前		1						兼 1 隔年・集中	
		食品保存学	3前		1						兼 1 隔年・集中	
		環境微生物学	3前		2		2				オムニバス	
		生理活性分子デザイン学	3後		2		1					
		生命情報学	3後		2		1				兼 1 オムニバス	
		動物生命工学	3後		2		1		1		オムニバス	
		食品機能化学	3後		2		1					
		食品製造化学	3後		2					1	1	担当教員准教授昇任のため(29)
		天然物化学	3後		2		2					オムニバス
		植物微生物学	3後		2		1					
		生命機能解析演習	3後		1		1			2		担当教員准教授昇任のため(28)(29) オムニバス
応用生命科学実地演習	3後		1					1		指導体制の充実のため(29) 集中		
応用植物病理科学	4前		2		1							
実践農学演習 I	1通		2							兼 5 オムニバス		

学 科 選 択 科 目	実践農学演習Ⅱ	2通	2					兼 5	オムニバス	
	実践農学演習Ⅲ	3通	2					兼 5	オムニバス	
	地質学概論	2前	2					兼 1		
	土壌圏科学	2前	2					兼 1		
	応用気象学	3後	1					兼 1	集中	
	先端フィールド科学演習	2通	1	↓				兼 3 2	集中	
	海外フィールドワーク	2休	2		1			兼 2	集中	
	インターンシップ	3休	2	↓			1		3年クラス担任が担当することになったため(29) 集中	
	専 門 科 目	教 職 専 門 科 目 I  教 職 等 資 格 科 目	(中等) 教職入門Ⅰ	1前	1				兼 1	集中 非常勤講師の勤務先の都合により変更(28)
			(中等) 教職入門Ⅱ	1前 4後	1				兼 1	集中 授業内容に現職教員の講演を追加したため、その講師の都合により夏季休業中の集中講義に変更(28)
(中等) 教育と社会			3前	2				兼 1		
教育課程の意義と編成の方法			3前	1				兼 1	集中	
教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)			3前	1				兼 1	集中	
特別活動論			3前	2				兼 1		
生徒指導(進路指導の理論及び方法を含む)			3後	2				兼 1		
教育相談			3前	2				兼 1		
教 職 専 門 科 目 II			理科教育法Ⅲ	2・3前	2				兼 1	集中
			理科教育法Ⅳ	2・3前	2				兼 1	集中
	教育実習事前・事後指導	3後～4前	1				兼 1	集中		
	教職実践演習(中・高)	4後	2				兼 1			
	教育実習Ⅱ	4前		2			兼 1			

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
32	145	1	178	32	145	1	178	
				[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	国際社会と日本	2	2	一般	選択	担当予定だった教員が産休に入り、代替教員を準備することが出来なかったため

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「国際社会と日本」を未開講としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」  
「国際社会と日本」（2単位・2年前期）は、教養科目の個別分野科目の22科目のうちの1科目である。「国際社会と日本」は、担当予定であった教員が産休に入り代替教員を準備することができなかったため未開講としたが、個別分野科目は、2年生向けに3つのコマ（平成29年度は前期月曜5・6時限、前期火曜3・4時限、後期火曜3・4時限）に集約して開講しており、学生はいずれのコマも5科目以上のうち、1科目を選択することになっている。また、時間割等において開講科目を周知していることから、学生への影響もほとんどないと判断し、「国際社会と日本」を未開講とすることについての学生への周知は行っていない。（29）

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{178} = \boxed{0.56}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	282,046 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	282,046 m <sup>2</sup>				
	運 動 場 用 地	84,654 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	84,654 m <sup>2</sup>				
	小 計	366,700 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	366,700 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	3,754,703 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	3,754,703 m <sup>2</sup>				
	合 計	4,121,403 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	4,121,403 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎	専 用	182,357 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	182,357 m <sup>2</sup>				
	( 182,357 m <sup>2</sup> )	( — m <sup>2</sup> )	( — m <sup>2</sup> )	( 182,357 m <sup>2</sup> )					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	10室	10室	62室	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	農学部 応用生命科学科			28 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点		
	農学部 応用生命科学科	1,214,500 [349,680] (1,201,714 [349,392])	20,481 [6,534] (20,483 [6,536])	6,194 [5,548] (6,193 [5,547])	13,692 (14,179)	546 (546)	1 (1)	図書、学術雑誌、電子 ジャーナル及び視聴覚 資料は、学科単位で特 定不能なため、大学全 体の数	
	計	1,214,500 [349,680] (1,201,714 [349,392])	20,481 [6,534] (20,483 [6,536])	6,194 [5,548] (6,193 [5,547])	13,692 (14,179)	546 (546)	1 (1)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	12,236 m <sup>2</sup>		1,109		1,098,625		大学全体		
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	3,970 m <sup>2</sup>		水泳プール、テニスコート、弓道場ほか				大学全体		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。



#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	静岡大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 定員	収定 容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文社会科学部		450	3年次 5	1,850		1.02			平成24年度入学生 より、人文学部か ら人文社会科学部 へ学部名称変更
社会学科	4	70	—	290	学士 (社会学又は 学術)	1.07	昭和57年度	静岡市駿河区大谷836	
言語文化学科	4	75	—	300	学士 (文学又は 学術)	1.04	平成 4年度	〃	
法学科	4	90	3年次 2	364	学士 (法学又は 学術)	1.06	昭和53年度	〃	
法学科(夜間主コース)	4	30	3年次 3	126	学士 (法学)	0.94	平成 8年度	〃	
経済学科	4	155	—	650	学士 (経済学又は 学術)	1.03	昭和53年度	〃	
経済学科(夜間主コース)	4	30	—	120	学士 (経済学)	0.82	平成 8年度	〃	
教育学部		300		1,400		1.01			
学校教育教員養成課程	4	300	—	1,200	学士 (教育学)	1.01	平成10年度	静岡市駿河区大谷836	
生涯教育課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より学 生募集停止
総合科学教育課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より学 生募集停止
芸術文化課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より学 生募集停止
情報学部		245		890		1.03			
情報科学科	4	100	—	400	学士 (情報学)	1.06	平成 8年度	浜松市中区城北3-5-1	
行動情報学科	4	70	—	140	〃	1.02	平成28年度	〃	
情報社会学科	4	75	—	350	学士 (情報学又は 学術)	1.01	平成 8年度	〃	

理学部		240		910		1.01			
数学科	4	38	—	146	学士 (理学)	0.99	昭和40年度	静岡市駿河区大谷836	
物理学科	4	48	—	186	学士 (理学又は 学術)	0.98	〃	〃	
化学科	4	52	—	194	〃	0.94	〃	〃	
生物科学科	4	52	—	194	〃	0.95	平成18年度	〃	
地球科学科	4	50	—	190	〃	0.99	〃	〃	
工学部		550		2,170		1.03			
機械工学科	4	168	—	666	学士 (工学又は 学術)	1.04	平成7年度	浜松市中区城北3-5-1	
電気電子工学科	4	110	—	430	学士 (工学)	1.05	〃	〃	
電子物質科学科	4	110	—	440	〃	1.03	平成25年度	〃	
化学バイオ工学科	4	112	—	434	学士 (工学又は 学術)	1.02	〃	〃	
数理システム工学科	4	50	—	200	学士 (工学)	1.02	〃	〃	
物質工学科	4	—	—	—	〃	—	平成7年度	〃	平成25年度より学 生募集停止
システム工学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成25年度より学 生募集停止
農学部		185	3年次 10	690		1.04			
生物資源科学科	4	115	3年次 7	230	学士 (農学又は 学術)	1.00	平成28年度	静岡市駿河区大谷836	
応用生命科学科	4	70	3年次 3	140	学士 (農学)	1.06	〃	〃	
共生バイオサイエンス学科	4	—	—	—	〃	—	平成18年度	〃	平成28年度より学 生募集停止
応用生物化学科	4	—	—	—	〃	—	平成元年度	〃	平成28年度より学 生募集停止
環境森林科学科	4	—	—	—	〃	—	平成18年度	〃	平成28年度より学 生募集停止

大学院人文社会科学研究科		36		72		0.79			
臨床人間科学専攻	2	11	—	22	修士 (臨床人間科学)	0.76	平成15年度	静岡市駿河区大谷836	
比較地域文化専攻	2	10	—	20	修士 (文学)	0.50	平成9年度	〃	
経済専攻	2	15	—	30	修士 (経済学)	0.99	平成17年度	〃	
大学院教育学研究科		76		156					
学校教育研究専攻	2	52	—	104	修士 (教育学)	0.85	平成21年度	静岡市駿河区大谷836	
共同教科開発学専攻	3	4	—	12	博士 (教育学)	1.25	平成24年度	〃	
教育実践高度化専攻	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	1.17	平成21年度	〃	
大学院総合科学技術研究科		479		958		1.15			
情報学専攻	2	60	—	120	修士 (情報学)	1.08	平成27年度	浜松市中区城北3-5-1	
理学専攻	2	70	—	140	修士 (理学)	1.04	〃	静岡市駿河区大谷836	
工学専攻	2	262	—	524	修士 (工学)	1.27	〃	浜松市中区城北3-5-1	
農学専攻	2	87	—	174	修士 (農学)	0.92	〃	静岡市駿河区大谷836	
大学院情報学研究科									
情報学専攻	2	—	—	—	修士 (情報学)	—	平成12年度	浜松市中区城北3-5-1	平成27年度より学生募集停止
大学院理学研究科									
物理学専攻	2	—	—	—	修士 (理学)	—	平成18年度	静岡市駿河区大谷836	平成27年度より学生募集停止
地球科学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より学生募集停止

大学院工学研究科									
機械工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成18年度	浜松市中区城北3-5-1	平成27年度より学生募集停止
電気電子工学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より学生募集停止
電子物質科学専攻	2	—	—	—	〃	—	平成25年度	〃	平成27年度より学生募集停止
数理システム工学専攻	2	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成27年度より学生募集停止
事業開発マネジメント専攻	2	—	—	—	〃	—	平成18年度	〃	平成27年度より学生募集停止
大学院農学研究科									
共生バイオサイエンス専攻	2	—	—	—	修士 (農学)	—	平成20年度	静岡市駿河区大谷836	平成27年度より学生募集停止
大学院自然科学系教育部		50		150		0.86			
ナノビジョン工学専攻	3	13	—	39	博士 (学術又は工学)	0.68	平成18年度	浜松市中区城北3-5-1	
光・ナノ物質機能専攻	3	12	—	36	博士 (学術、理学又は工学)	0.72	〃	〃	
情報科学専攻	3	10	—	30	博士 (学術、情報学、理学又は工学)	1.20	〃	〃	
環境・エネルギーシステム専攻	3	7	—	21	博士 (学術、理学又は工学)	0.94	〃	静岡市駿河区大谷836	
バイオサイエンス専攻	3	8	—	24	博士 (学術、理学、工学又は農学)	0.87	〃	〃	
大学院法務研究科									
法務専攻	3	—	—	—	法務博士 (専門職)	—	平成17年度	静岡市駿河区大谷836	平成28年度より学生募集停止

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
- ※ 「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ※ なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
- ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
- ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<農学部 応用生命科学科>

### (1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	高坂哲也(61)	平成28年4月	応用生命科学基礎論 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 動物生命科学 動物生命工学 生命機能解析演習 卒業研究 A B P 卒業研究	専	教授	高坂哲也(62)	平成28年4月	生命科学 応用生命科学基礎論 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 動物生命科学 動物生命工学 生命機能解析演習 卒業研究 A B P 卒業研究	クラスを分けて開講することになったため担当追加(29) ローテーションによる担当者入れ替えのため担当減(29)
専	教授	河岸洋和(59)	平成28年4月	物理化学1B 応用生命科学基礎論 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 分析化学2 天然物化学 卒業研究 A B P 卒業研究	専	教授	河岸洋和(60)	平成28年4月	物理化学1B 応用生命科学基礎論 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 分析化学2 天然物化学 卒業研究 A B P 卒業研究	ローテーションによる担当者入れ替えのため担当減(29)
専	教授	瀧川雄一(59)	平成28年4月	生物学実験 応用生命科学基礎論 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 植物微生物学 応用植物病理科学 海外フィールドワーク 卒業研究 A B P 卒業研究	専	教授	瀧川雄一(60)	平成28年4月	生物と環境 生物学実験 応用生命科学基礎論 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 植物微生物学 応用植物病理科学 海外フィールドワーク 卒業研究 A B P 卒業研究	クラスを分けて開講することになったため担当追加(29) ローテーションによる担当者入れ替えのため担当減(29)
専	教授	森田達也(58)	平成28年4月	応用生命科学基礎論 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 栄養化学 食品機能化学 卒業研究 A B P 卒業研究	専	教授	森田達也(59)	平成28年4月	応用生命科学基礎論 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 栄養化学 食品機能化学 卒業研究 A B P 卒業研究	ローテーションによる担当者入れ替えのため担当減(29)
専	教授	朴 龍洙(57)	平成28年4月	物理化学2 A 化学実験 応用生命科学基礎論 基礎微生物学 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 分子生物工学 卒業研究 A B P 卒業研究	専	教授	朴 龍洙(58)	平成28年4月	物理化学2 A 化学実験 応用生命科学基礎論 基礎微生物学 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 分子生物工学 卒業研究 A B P 卒業研究	ローテーションによる担当者入れ替えのため担当減(29)
専	教授	富田因則(56)	平成28年4月	応用生命科学基礎論 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 ゲノム育種工学 卒業研究 A B P 卒業研究	専	教授	富田因則(57)	平成28年4月	応用生命科学基礎論 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 ゲノム育種工学 卒業研究 A B P 卒業研究	ローテーションによる担当者入れ替えのため担当減(29)
専	教授	小川直人(54)	平成28年4月	応用生命科学基礎論 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 環境微生物学 卒業研究 A B P 卒業研究	専	教授	小川直人(55)	平成28年4月	応用生命科学基礎論 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 環境微生物学 卒業研究 A B P 卒業研究	ローテーションによる担当者入れ替えのため担当減(29)

専	教授	森田明雄 (54)	平成28年4月	応用生命科学基礎論 分析化学 1 実用科学英語 2 応用生命科学実験 1 応用生命科学実験 2 応用生命科学実験 3 植物栄養学 先端フィールド科学 演習 卒業研究 A B P 卒業研究	専	教授	森田明雄 (55)	平成28年4月	応用生命科学基礎論 分析化学 1 実用科学英語 2 応用生命科学実験 1 応用生命科学実験 2 応用生命科学実験 3 植物栄養学 先端フィールド科学 演習 卒業研究 A B P 卒業研究	ローテーションによる担 当者入れ替えのため担当 減 (29)
専	教授	木村洋子 (52)	平成28年4月	化学実験 生化学 A 実用科学英語 2 応用生命科学実験 1 応用生命科学実験 2 応用生命科学実験 3 卒業研究 A B P 卒業研究	専	教授	木村洋子 (53)	平成28年4月	化学実験 応用生命科学基礎論 生化学 A 実用科学英語 2 応用生命科学実験 1 応用生命科学実験 2 応用生命科学実験 3 卒業研究 A B P 卒業研究	ローテーションによる担 当者入れ替えのため担当 追加 (29)
専	教授	轟 泰司 (49)	平成28年4月	化学概論 物理化学 1 A 有機化学 実用科学英語 2 応用生命科学実験 1 応用生命科学実験 2 応用生命科学実験 3 生物有機化学 生理活性分子デザイ ン学 インターンシップ 卒業研究 A B P 卒業研究	専	教授	轟 泰司 (50)	平成28年4月	化学概論 物理化学 1 A 応用生命科学基礎論 有機化学 実用科学英語 2 応用生命科学実験 1 応用生命科学実験 2 応用生命科学実験 3 生物有機化学 生理活性分子デザイ ン学 インターンシップ 卒業研究 A B P 卒業研究	ローテーションによる担 当者入れ替えのため担当 追加 (29)
専	教授	本橋令子 (48)	平成28年4月	実用科学英語 2 応用生命科学実験 1 応用生命科学実験 2 応用生命科学実験 3 分子細胞生物学 遺伝学 生命情報学 卒業研究 A B P 卒業研究	専	教授	本橋令子 (49)	平成28年4月	応用生命科学基礎論 実用科学英語 2 応用生命科学実験 1 応用生命科学実験 2 応用生命科学実験 3 遺伝学 分子細胞生物学 生命情報学 卒業研究 A B P 卒業研究	ローテーションによる担 当者入れ替えのため担当 減 (29) 平成29年度より副学長に 就任したため、負担軽減 の措置により担当減 (29)
専	教授	原 正和 (48)	平成28年4月	新入生セミナー 物理化学 2 B 化学実験 分析化学 1 実用科学英語 2 応用生命科学実験 1 応用生命科学実験 2 応用生命科学実験 3 植物生理学 卒業研究 A B P 卒業研究	専	教授	原 正和 (49)	平成28年4月	新入生セミナー 物理化学 2 B 化学実験 応用生命科学基礎論 分析化学 1 実用科学英語 2 応用生命科学実験 1 応用生命科学実験 2 応用生命科学実験 3 植物生理学 卒業研究 A B P 卒業研究	ローテーションによる担 当者入れ替えのため担当 減 (29) ローテーションによる担 当者入れ替えのため担当 追加 (29)
専	教授	西村直道 (47)	平成28年4月	生化学 B 実用科学英語 2 応用生命科学実験 1 応用生命科学実験 2 応用生命科学実験 3 卒業研究 A B P 卒業研究	専	教授	西村直道 (48)	平成28年4月	応用生命科学基礎論 生化学 B 実用科学英語 2 応用生命科学実験 1 応用生命科学実験 2 応用生命科学実験 3 卒業研究 A B P 卒業研究	ローテーションによる担 当者入れ替えのため担当 追加 (29)
専	教授	平井浩文 (46)	平成28年4月	新入生セミナー 実用科学英語 2 応用生命科学実験 1 応用生命科学実験 2 応用生命科学実験 3 遺伝子工学 環境微生物学 天然物化学 卒業研究 A B P 卒業研究	専	教授	平井浩文 (47)	平成28年4月	新入生セミナー 応用生命科学基礎論 実用科学英語 2 応用生命科学実験 1 応用生命科学実験 2 応用生命科学実験 3 遺伝子工学 環境微生物学 天然物化学 卒業研究 A B P 卒業研究	ローテーションによる担 当者入れ替えのため担当 減 (29)
専	准教授	徳山真治 (58)	平成28年4月	基礎微生物学 実用科学英語 2 応用生命科学実験 1 応用生命科学実験 2 応用生命科学実験 3 応用微生物学 卒業研究 A B P 卒業研究	専	准教授	徳山真治 (59)	平成28年4月	応用生命科学基礎論 基礎微生物学 実用科学英語 2 応用生命科学実験 1 応用生命科学実験 2 応用生命科学実験 3 応用微生物学 卒業研究 A B P 卒業研究	ローテーションによる担 当者入れ替えのため担当 追加 (29)
専	准教授	茶山和敏 (56)	平成28年4月	実用科学英語 2 応用生命科学実験 1 応用生命科学実験 2 応用生命科学実験 3 動物機能学 卒業研究 A B P 卒業研究	専	准教授	茶山和敏 (57)	平成28年4月	生物と環境 応用生命科学基礎論 実用科学英語 2 応用生命科学実験 1 応用生命科学実験 2 応用生命科学実験 3 動物機能学 卒業研究 A B P 卒業研究	クラスを分けて開講する ことになったため担当追 加 (29) ローテーションによる担 当者入れ替えのため担当 減 (29)

専	准教授	村田健臣 (51)	平成28年4月	物理化学2 B 化学実験 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 生物有機化学 卒業研究 A B P 卒業研究	専	准教授	村田健臣 (52)	平成28年4月	生活の科学 物理化学2 B 化学実験 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 生物有機化学 卒業研究 A B P 卒業研究	クラスを分けて開講することにしたため担当追加 (29)
専	准教授	與語圭一郎 (47)	平成28年4月	生物学B 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 動物生理学 分子細胞生物学 動物生命工学 卒業研究 A B P 卒業研究						
専	准教授	笹浪知宏 (43)	平成28年4月	細胞生物学 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 応用生命科学実地演習 卒業研究 A B P 卒業研究	専	准教授	笹浪知宏 (44)	平成28年4月	新入生セミナー 生命科学 細胞生物学 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 応用生命科学実地演習 卒業研究 A B P 卒業研究	ローテーションによる担当者入れ替えのため担当追加 (29) クラスを分けて開講することにしたため担当追加 (29)
専	准教授	加藤竜也 (40)	平成28年4月	新入生セミナー 化学実験 基礎微生物学 分子生物学 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 卒業研究 A B P 卒業研究	専	准教授	加藤竜也 (41)	平成28年4月	新入生セミナー 生活の科学 化学実験 基礎微生物学 分子生物学 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 卒業研究 A B P 卒業研究	クラスを分けて開講することにしたため担当追加 (29)
専	准教授	大西利幸 (39)	平成28年4月	物理化学1 B 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 分析化学2 卒業研究 A B P 卒業研究						
専	助教	小谷真也 (43)	平成28年4月	基礎微生物学 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 応用微生物学 生命機能解析演習卒業研究 A B P 卒業研究						
専	助教	一家崇志 (35)	平成28年4月	新入生セミナー 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 生命機能解析演習 卒業研究 A B P 卒業研究	専	准教授	一家崇志 (36)	平成28年4月	新入生セミナー 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 生命機能解析演習 卒業研究 A B P 卒業研究	ローテーションによる担当者入れ替えのため担当減 (29) 29.4准教授に昇任 (29)
専	助教	日野真吾 (34)	平成28年4月	実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 食品製造化学 卒業研究 A B P 卒業研究	専	准教授	日野真吾 (35)	平成28年4月	実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 食品製造化学 卒業研究 A B P 卒業研究	29.4准教授に昇任 (29)
専	助教	森 智夫 (40)	平成28年4月	実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 応用生命科学実地演習 卒業研究 A B P 卒業研究						
専	助教	崔 宰熏 (38)	平成28年4月	新入生セミナー 化学実験 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 卒業研究 A B P 卒業研究	専	助教	崔 宰熏 (39)	平成28年4月	新入生セミナー 化学実験 実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 インターンシップ 卒業研究 A B P 卒業研究	ローテーションによる担当者入れ替えのため担当減 (29) 3年クラス担任として担当追加 (29)



											専	助教	竹内 純 (32)	平成28年4月	実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 応用生命科学実地演習 卒業研究 A B P 卒業研究	平成28年2月就任(28)	
											専	助教	宮崎剛亜 (30)	平成28年4月	実用科学英語2 応用生命科学実験1 応用生命科学実験2 応用生命科学実験3 応用生命科学実地演習 卒業研究 A B P 卒業研究	平成28年1月就任(28)	
兼担	教授	釜谷保志 (59)	平成28年10月	地域生態環境科学基礎論													
兼担	教授	水永博己 (58)	平成28年10月	地域生態環境科学基礎論													
兼担	教授	鳥山 優 (57)	平成28年4月	生物学A 生物学実験 実践農学演習Ⅰ 実践農学演習Ⅱ 実践農学演習Ⅲ													
兼担	教授	河合真吾 (54)	平成28年4月	化学実験 木質科学基礎論													
兼担	教授	山田雅章 (53)	平成28年4月	化学実験 木質科学基礎論													
兼担	教授	竹之内裕文 (48)	平成28年4月	農学基礎論 実践農学演習Ⅰ 実践農学演習Ⅱ 実践農学演習Ⅲ													
兼担	教授	王 権 (45)	平成28年10月	コミュニティ基礎論	兼担	教授	王 権 (45)	平成28年10月	コミュニティ基礎論								高度な専門性をもつ教員の分担割合を高めた結果、担当減(28)
兼担	助教	富田涼都 (36)	平成28年4月	実践農学演習Ⅰ 実践農学演習Ⅱ 実践農学演習Ⅲ 地域生態環境科学基礎論 コミュニティ基礎論	兼担	准教授	富田涼都 (37)	平成28年4月	実践農学演習Ⅰ 実践農学演習Ⅱ 実践農学演習Ⅲ 地域生態環境科学基礎論 コミュニティ基礎論								高度な専門性をもつ教員の分担割合を高めた結果、担当減(28)
兼担	助教	太田美帆 (41)	平成28年4月	実践農学演習Ⅰ 実践農学演習Ⅱ 実践農学演習Ⅲ コミュニティ基礎論	兼担	助教	太田美帆 (42)	平成28年4月	実践農学演習Ⅰ 実践農学演習Ⅱ 実践農学演習Ⅲ 海外フィールドワーク コミュニティ基礎論								ローテーションによる担当教員の入れ替えにより担当追加(29) 高度な専門性をもつ教員の分担割合を高めた結果、担当減(28)
兼担	特任准教授	藤本稯彦 (32)	平成28年4月	実践農学演習Ⅰ 実践農学演習Ⅱ 実践農学演習Ⅲ コミュニティ基礎論	兼担	准教授	藤本稯彦 (33)	平成28年4月	実践農学演習Ⅰ 実践農学演習Ⅱ 実践農学演習Ⅲ コミュニティ基礎論								平成28年10月付准教授に採用(28)
兼担	准教授	堀池徳祐 (43)	平成28年10月	植物バイオサイエンス基礎論 生命情報学	兼担	准教授	堀池徳祐 (44)	平成28年10月	生命科学 植物バイオサイエンス基礎論 生命情報学 海外フィールドワーク								クラスを分けて開講することになったため担当追加(29) ローテーションによる担当教員の入れ替えにより担当追加(29)
兼担	准教授	渡邊 拓 (51)	平成28年4月	物理学概論													
兼担	准教授	柴垣裕司 (51)	平成28年10月	コミュニティ基礎論													

兼担	准教授	切岩祥和 (43)	平成28年4月	生物学B 生物学実験 植物バイオサイエ ンス基礎論							
兼担	准教授	南雲俊之 (46)	平成28年4月	化学実験 地域生態環境科学基 礎論 土壌圏科学							
兼担	教授	稲垣栄洋 (47)	平成29年4月	植物バイオサイエ ンス基礎論 先端フィールド科学 演習							
兼担	准教授	逢坂興宏 (54)	平成28年10月	地域生態環境科学基 礎論 コミュニティ基礎論	兼担	准教授	逢坂興宏 (55)	平成28年10月	地域生態環境科学基 礎論 コミュニティ基礎論	高度な専門性をもつ教員 の分担割合を高めた結 果、担当減 (28)	
兼担	准教授	今泉文寿 (39)	平成28年10月	コミュニティ基礎論	兼担	准教授	今泉文寿 (40)	平成28年10月	地域生態環境科学基 礎論 コミュニティ基礎論	高度な専門性をもつ教員 の分担割合を高めた結 果、担当減 (28)	
兼担	准教授	八幡昌紀 (37)	平成29年4月	先端フィールド科学 演習							
兼担	准教授	平田久笑 (40)	平成28年4月	生物学実験 植物バイオサイエ ンス基礎論	兼担	准教授	平田久笑 (41)	平成28年4月	生命科学 生物学実験 植物バイオサイエ ンス基礎論	クラスを分けて開講する ことになったため担当追 加 (29)	
兼担	教授	山下雅幸 (52)	平成28年4月	生物学実験 地域生態環境科学基 礎論 海外フィールドワー ク	兼担	教授	山下雅幸 (53)	平成28年4月	生物学実験 地域生態環境科学基 礎論 海外フィールドワー ク 先端フィールド科学 演習	ローテーションによる担 当者入れ替えのため担当 減 (29)	
兼担	教授	澤田 均 (59)	平成28年4月	生物学実験 地域生態環境科学基 礎論							
兼担	教授	鈴木克己 (51)	平成28年4月	生物学実験 植物バイオサイエ ンス基礎論	兼担	教授	鈴木克己 (52)	平成28年4月	生物と環境 生物学実験 植物バイオサイエ ンス基礎論	オムニバスで開講するこ とになったため担当追加 (29)	
兼担	教授	加藤雅也 (42)	平成28年4月	植物バイオサイエ ンス基礎論							
兼担	准教授	小島陽一 (39)	平成28年4月	生物学実験 木質科学基礎論							
兼担	助教	小林研治 (34)	平成28年10月	木質科学基礎論	兼担	准教授	小林研治 (35)	平成28年10月	木質科学基礎論	28. 4准教授に昇任 (28)	
兼担	助教	米田夕子 (36)	平成28年10月	木質科学基礎論	兼担	准教授	米田夕子 (37)	平成28年10月	木質科学基礎論	29. 5准教授に昇任 (29)	
兼担	准教授	山脇和樹 (60)	平成28年4月	生物学実験 植物バイオサイエ ンス基礎論							
兼担	准教授	向井啓雄 (56)	平成28年4月	生物学実験 植物バイオサイエ ンス基礎論							
兼担	准教授	田上陽介 (44)	平成28年10月	植物バイオサイエ ンス基礎論							
兼担	准教授	鮫島玲子 (42)	平成28年10月	植物バイオサイエ ンス基礎論							
兼担	准教授	八幡昌紀 (37)	平成28年10月	植物バイオサイエ ンス基礎論							
兼担	准教授	檜本正明 (44)	平成28年4月	生物学実験	兼担	准教授	檜本正明 (45)	平成28年4月	生物と環境 生物学実験	オムニバスで開講するこ とになったため担当追加 (29)	
兼担	助教	中塚貴司 (39)	平成28年4月	生物学実験 植物バイオサイエ ンス基礎論							
兼担	助教	田中 孝 (38)	平成28年4月	化学実験 木質科学基礎論							
兼担	助教	小堀 光 (32)	平成28年10月	木質科学基礎論							

兼任	助教	菌部 礼 (32)	平成28年10月	地域生態環境科学基礎論						
					兼任	准教授	笠井 敦 (41)	平成29年4月	生物と環境	29.4就任 オムニバスで開講することになったため担当追加 (29)
					兼任	講師	明賀史純 (45)	平成29年4月	遺伝学	当初担当予定だった教員が副学長に就任したため、担当者を変更(29)
兼任	助教	DEO VIPIN KUMAR (39)	平成30年4月	実用科学英語 1						
兼任	講師	増田修一 (47)	平成30年4月	食品衛生学 環境衛生学						
兼任	講師	衛藤英男 (68)	平成30年4月	食品保存学						
兼任	講師	石川政憲 (65)	平成29年4月	地質学概論						
兼任	講師	玉川一郎 (50)	平成30年10月	応用気象学						
兼任	講師	望月耕太 (31)	平成28年4月	(中等) 教職入門Ⅰ (中等) 教職入門Ⅱ						
兼任	講師	島田桂吾 (33)	平成29年4月	(中等) 教育と社会						
兼任	講師	松尾由希子 (38)	平成29年4月	(中等) 教育の原理 教育課程の意義と編成の方法 教職実践演習						
兼任	講師	松沼光泰 (47)	平成29年4月	(中等) 発達と学習 教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。) 生徒指導(進路指導の理論及び方法を含む。)						
兼任	教授	原田唯司 (61)	平成30年4月	教育相談						
兼任	教授	村越 真 (56)	平成30年4月	特別活動論	兼任	教授	村越 真 (57)	平成29年4月	特別活動論 健康体育Ⅰ	担当者入れ替えのため担当科目追加(29)
兼任	教授	矢野 淳 (51)	平成31年4月	教育実習Ⅱ	兼任	教授	矢野 淳 (52)	平成28年4月	教育実習Ⅱ 英語演習Ⅰ 英語演習Ⅲ	英語科目部の中で担当者入れ替えを行ったため(29)
兼任	講師	伴野 学 (66)	平成30年10月	教育実習事前・事後指導						
兼任	教授	丹沢哲郎 (56)	平成29年4月	理科教育法Ⅲ						
兼任	講師	大鹿聖公 (48)	平成29年4月	理科教育法Ⅳ						
兼任	教授	森野和弥 (55)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語リーディングⅡ						
兼任	教授	白畑知彦 (59)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ	兼任	教授	白畑知彦 (59)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語演習Ⅲ	英語科目部の中で担当者入れ替えを行ったため(29)
兼任	准教授	松野和子 (37)	平成28年4月	英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ 英語リーディングⅠ 英語海外研修B	兼任	准教授	松野和子 (38)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語演習Ⅰ 英語演習Ⅱ 英語リーディングⅠ 英語海外研修B アカデミックイングリッシュⅢ	英語科目部の中で担当者入れ替えを行ったため(29)

兼担	准教授	シェーファ (40)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語ライティング I 英語デイズカッション	兼担	准教授	シェーファ (41)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語ライティング II 英語デイズカッション アカデミックイングリッシュ I	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼担	准教授	ユーリック (48)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II アカデミックイングリッシュ II 英語海外研修A 英語デイズカッション	兼担	准教授	ユーリック (49)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II アカデミックイングリッシュ II 英語海外研修A 英語デイズカッション	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼担	講師	山本好比古 (41)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語演習 II 英語リーディング I ビジネスイングリッシュ	兼担	講師	山本好比古 (42)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語演習 II 英語リーディング I 英語インテンティブ A ビジネスイングリッシュ	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼任	講師	田中裕実 (42)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	兼任	講師	田中裕実 (43)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語ライティング I 英語リーディング II	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼任	講師	関静乃 (49)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語ライティング I 英語ライティング II	兼任	講師	関静乃 (50)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語ライティング I 英語ライティング II	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼任	講師	溪村葉子 (56)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II	兼任	講師	溪村葉子 (57)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語ライティング I 英語ライティング II	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼任	講師	グローガー (60)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語デイズカッション	兼任	講師	グローガー (61)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語ライティング I 英語デイズカッション	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼任	講師	マックロー リー (46)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語デイズカッション						
兼任	講師	テkin ビンゴル (52)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語ライティング I	兼任	講師	テkin ビンゴル (53)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語ライティング I 英語デイズカッション	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼任	講師	ハリントン (60)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II						
兼任	講師	永倉由里 (59)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II						
兼任	講師	レッドフォード 賀代 子 (51)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II						
兼任	講師	大野千鶴 (68)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語リーディング I	兼任	講師	大野千鶴 (69)	平成28年10月	英語コミュニケーション I 英語リーディング I 英語リーディング II	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼任	講師	梅田泰 (42)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語演習 III	兼任	講師	梅田泰 (43)	平成28年10月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語ライティング I 英語演習 III	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼任	講師	辻直人 (52)	平成28年10月	英語コミュニケーション II 英語リーディング I	兼任	講師	辻直人 (53)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語リーディング I	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼任	講師	コルテス (61)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II						
兼任	講師	マグラクレン (48)	平成28年10月	英語コミュニケーション II	兼任	講師	マグラクレン (49)	平成28年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語デイズカッション	英語科目部の中で担当者 入れ替えを行ったため (29)
兼担	教授	大村光弘 (49)	平成28年4月	英語演習 I						
兼担	教授	丸山修 (51)	平成28年4月	英語演習 I						
兼担	教授	熊谷滋子 (57)	平成28年4月	英語演習 I						



兼任	教授	熊谷 滋子 (57)	平成28年10月	英語演習Ⅲ						
兼任	講師	トマス フォーブス (59)	平成29年4月	英語ライティングⅡ						
兼任	准教授	クレメンツ (48)	平成29年4月	英語ライティングⅡ						
					兼任	講師	法月アリス (55)	平成29年4月	英語ライティングⅡ	クラスを増やしたことにより平成29年4月より就任(29)
兼任	講師	坪本篤朗 (66)	平成28年10月	英語ライティングⅡ						
					兼任	教授	レッドフォード (52)	平成28年10月	英語ディスカッション	英語科目部の中で担当者入れ替えを行い、平成28年10月より就任(28)
兼任	教授	原澤伊都夫 (61)	平成28年4月	英語海外研修A 日本語Ⅴ 日本事情						
兼任	教授	熊井浩子 (56)	平成28年4月	英語海外研修B 日本語Ⅰ						
兼任	講師	小柴 浩稔 (47)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ						
兼任	講師	蓑島 洋子 (64)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ						
兼任	教授	城岡 啓二 (59)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	兼任	教授	城岡 啓二 (60)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	担当者の入れ替えのため担当科目減(28)
兼任	准教授	大藪 正彦 (45)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ	兼任	准教授	大藪 正彦 (46)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	担当者の入れ替えのため担当科目追加(28)
兼任	准教授	トマス エケンベルク (54)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ 初修外国語Ⅰ	兼任	准教授	トマス エケンベルク (55)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ 初修外国語Ⅰ	平成28年3月退職(28)
兼任	講師	バウムガルトナー (52)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	兼任	講師	バウムガルトナー (53)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	就任辞退のため担当者変更(28)
兼任	教授	浅野 幸生 (60)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ						
兼任	教授	安永 愛 (50)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ						
兼任	講師	青木 博子 (64)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ						
兼任	教授	江口 尚純 (54)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ						
兼任	講師	保坂 思芳 (43)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ						
兼任	講師	金 小賢 (58)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ						

兼任	講師	周 佩芳 (62)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ 初修外国語Ⅰ 健康体育Ⅰ 健康体育Ⅱ スポーツⅠ	兼任	講師	周 佩芳 (63)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ 初修外国語Ⅰ 健康体育Ⅰ 健康体育Ⅱ スポーツⅠ	担当者入れ替えのため担当科目減 (29)
兼任	講師	黄 素英 (54)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	兼任	講師	黄 素英 (55)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	専任教員が担当することに変更のため (28)
兼任	講師	有賀 祐子 (58)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ						
兼任	教授	花方 寿行 (47)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ						
兼任	准教授	大原 志麻 (41)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ						
兼任	講師	フロレス (37)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	兼任	講師	フロレス (38)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	担当者の入れ替えのため担当科目減 (28)
兼任	講師	野内 遊 (41)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ						
兼任	教授	南 富鎮 (54)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ 初修外国語Ⅰ						
兼任	講師	石田 美智代 (49)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ						
兼任	講師	全 高香 (48)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ						
兼任	准教授	大友正広 (57)	平成28年10月	初修外国語入門Ⅱ	兼任	准教授	大友正広 (58)	平成28年10月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	担当者の入れ替えのため担当科目追加 (28)
兼任	准教授	コルベイユ (37)	平成28年10月	初修外国語入門Ⅱ 初修外国語Ⅰ	兼任	准教授	コルベイユ (37)	平成28年10月	初修外国語入門Ⅱ 初修外国語Ⅰ	平成28年3月退職 (28)
兼任	講師	ジェン (39)	平成28年10月	初修外国語入門Ⅱ	兼任	講師	ジェン (39)	平成28年10月	初修外国語入門Ⅱ	時間割の調整のため担当者変更 (28)
					兼任	講師	大澤隆幸 (69)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	平成28年4月より就任 (28)
					兼任	講師	森 治 (70)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ 初修外国語Ⅰ	平成28年4月より就任 (28)
					兼任	教授	今野喜和人 (62)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ	平成28年4月より就任 (28)
					兼任	講師	ジャイ ユウ (43)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	平成28年4月より就任 (28)
					兼任	講師	増井実子 (51)	平成28年4月	初修外国語入門Ⅰ	平成28年4月より就任 (28)

					兼任	講師	トロスト バーバラ (56)	平成28年10月	初修外国語入門Ⅱ	平成28年10月より就任 (28)
					兼任	講師	ロジェ ヴォ ルス (69)	平成28年10月	初修外国語入門Ⅱ	平成28年10月より就任 (28)
					兼任	講師	稲田晴年 (69)	平成28年10月	初修外国語入門Ⅱ	平成28年10月より就任 (28)
					兼任	教授	埋田重夫 (60)	平成28年10月	初修外国語入門Ⅱ	平成28年10月より就任 (28)
					兼任	教授	桑島道夫 (50)	平成28年10月	初修外国語入門Ⅱ	平成28年10月より就任 (28)
兼任	講師	岩崎 ラファ エリーナ (61)	平成29年4月	初修外国語Ⅰ	兼任	講師	岩崎 ラファ エリーナ (62)	平成28年10月	初修外国語入門Ⅱ 初修外国語Ⅰ	担当者入れ替えのため担 当科目追加 (28)
					兼任	講師	鄭 泰元 (42)	平成28年10月	初修外国語入門Ⅰ 初修外国語入門Ⅱ	平成28年10月より就任 (28)
兼任	講師	王 元武 (67)	平成29年4月	初修外国語Ⅰ						
兼任	教授	田村充正 (60)	平成29年4月	初修外国語Ⅰ	兼任	教授	田村充正 (60)	平成29年4月	初修外国語Ⅰ	担当者入れ替えのため (29)
					兼任	講師	矢田 ドミニ ク (55)	平成29年4月	初修外国語Ⅰ	平成29年4月より就任 (29)
兼任	教授	杉山 康司 (52)	平成28年4月	健康体育Ⅰ スポーツⅠ スポーツⅡ	兼任	教授	杉山 康司 (53)	平成28年10月	健康体育Ⅰ 健康体育Ⅱ スポーツⅠ スポーツⅡ	担当者入れ替えのため担 当科目減 (29)
兼任	教授	中野 美恵子 (63)	平成28年4月	健康体育Ⅰ 健康体育Ⅱ	兼任	教授	中野 美恵子 (64)	平成28年4月	健康体育Ⅰ 健康体育Ⅱ	平成29年3月退職 (29)
兼任	教授	吉田 和人 (54)	平成28年4月	健康体育Ⅰ 健康体育Ⅱ	兼任	教授	吉田 和人 (55)	平成29年10月	健康体育Ⅰ 健康体育Ⅱ スポーツⅡ	担当者入れ替えのため担 当科目減 (29) 担当者入れ替えのため担 当科目減 (28) 担当者入れ替えのため担 当科目追加 (29)
兼任	准教授	野津一浩 (44)	平成28年4月	健康体育Ⅰ	兼任	准教授	野津一浩 (45)	平成28年10月	健康体育Ⅰ 健康体育Ⅱ	担当者入れ替えのため担 当科目変更 (29)
兼任	講師	村野 直弘 (56)	平成28年4月	健康体育Ⅰ 健康体育Ⅱ						
兼任	講師	宮原 時彦 (48)	平成28年4月	健康体育Ⅰ	兼任	講師	宮原 時彦 (49)	平成28年4月 平成29年10月	健康体育Ⅰ スポーツⅡ	担当者入れ替えのため (28) 担当者入れ替えのため (29)
					兼任	講師	村田真一 (38)	平成28年4月	健康体育Ⅰ	担当者入れ替えのため平 成28年4月より就任 (28)



					兼任	講師	杉山卓也 (44)	平成28年4月	健康体育Ⅰ	担当者入れ替えのため平成28年4月より就任(28)
兼任	講師	辻川比呂斗 (38)	平成28年10月	健康体育Ⅱ	兼任	講師	辻川比呂斗 (39)	平成28年4月	健康体育Ⅰ 健康体育Ⅱ	担当者入れ替えのため担当科目追加(28)
兼任	講師	瀧本厚子 (57)	平成28年10月	健康体育Ⅱ	兼任	講師	瀧本厚子 (58)	平成28年4月	健康体育Ⅰ 健康体育Ⅱ	担当者入れ替えのため担当科目変更(29)
兼任	教授	岡端 隆 (52)	平成28年10月	健康体育Ⅱ	兼任	教授	岡端 隆 (52)	平成28年10月	健康体育Ⅱ	担当者の変更のため(28)
					兼任	講師	山崎朱音 (32)	平成28年10月	健康体育Ⅱ	平成28年10月就任(28)
					兼任	講師	芹沢幹雄 (68)	平成28年10月	健康体育Ⅱ	平成28年10月就任(28)
兼任	講師	今野 守 (68)	平成29年4月	スポーツⅠ スポーツⅡ						
兼任	講師	菊本智之 (51)	平成29年4月	スポーツⅠ スポーツⅡ						
兼任	講師	高根信吾 (43)	平成29年4月	スポーツⅠ						
兼任	准教授	赤田信一 (49)	平成29年10月	スポーツⅡ	兼任	准教授	赤田信一 (49)	平成29年10月	スポーツⅡ	担当者の変更のため(29)
					兼任	講師	齋藤 剛 (43)	平成29年10月	スポーツⅡ	平成29年10月就任(29)
兼任	教授	白井靖人 (54)	平成29年4月	ABPインターン シップ						
					兼任	特任教授	野澤義明 (60)	平成29年4月	ABPインターン シップ	平成29年4月就任(29)
兼任	准教授	須藤 智 (38)	平成28年10月	キャリアデザイン 心理学						
兼任	准教授	堂園俊彦 (41)	平成29年4月	哲学						
兼任	教授	藤井真生 (42)	平成29年4月	歴史と文化						
					兼任	教授	黒川みどり (58)	平成29年4月	歴史と文化	クラス増加のため平成29年4月就任(29)
兼任	准教授	森本隆子 (54)	平成29年4月	ことばと表現	兼任	准教授	森本隆子 (54)	平成29年4月	ことばと表現	担当者変更のため(29)
					兼任	准教授	中村ともえ (38)	平成29年4月	ことばと表現	担当者変更により平成29年4月就任(29)
兼任	講師	南 利明 (70)	平成29年4月	日本国憲法						

					兼任	講師	藤田憲一 (68)	平成29年4月	日本国憲法	クラス増加のため平成29年4月就任(29)
					兼任	教授	板倉美奈子 (53)	平成29年4月	日本国憲法	クラス増加のため平成29年4月就任(29)
兼任	教授	阿波連正一 (63)	平成29年4月	法と社会						
					兼任	教授	橋本誠一 (60)	平成29年4月	法と社会	クラス増加のため平成29年4月就任(29)
兼任	准教授	西野 肇 (46)	平成29年4月	経済と社会	兼任	准教授	西野 肇 (46)	平成29年4月	経済と社会	担当者変更のため(29)
					兼任	教授	色川卓男 (56)	平成29年4月	経済と社会	クラス増加のため平成29年4月就任(29)
					兼任	准教授	高松慶裕 (35)	平成29年4月	経済と社会	クラス増加のため平成29年4月就任(29)
					兼任	准教授	鈴木拓也 (40)	平成29年4月	経済と社会	クラス増加のため平成29年4月就任(29)
					兼任	准教授	中川訓範 (44)	平成29年4月	経済と社会	クラス増加のため平成29年4月就任(29)
兼任	教授	鈴木 宏尚 (43)	平成29年4月	現代の社会						
					兼任	教授	石原 剛志 (48)	平成29年4月	現代の社会	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任(29)
					兼任	教授	冬木 春子 (47)	平成29年4月	現代の社会	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任(29)
					兼任	教授	小川 裕子 (61)	平成29年4月	現代の社会	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任(29)
					兼任	准教授	雨森 聡 (39)	平成29年4月	現代の社会	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任(29)
					兼任	准教授	吉田 崇 (42)	平成29年4月	現代の社会	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任(29)
					兼任	教授	白井千晶 (46)	平成29年4月	現代の社会	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任(29)
					兼任	准教授	山本崇記 (37)	平成29年4月	現代の社会	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任(29)
					兼任	教授	荻野達史 (48)	平成29年4月	現代の社会	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任(29)
					兼任	准教授	橋本 剛 (45)	平成29年4月	心理学	クラス増加のため平成29年4月就任
兼任	准教授	佐藤正志 (33)	平成29年4月	地域と文化	兼任	准教授	佐藤正志 (33)	平成29年4月	地域と文化	担当者変更のため(29)
					兼任	教授	池田恵子 (50)	平成29年4月	地域と文化	クラス増加のため平成29年4月就任(29)
					兼任	准教授	長沼さやか (40)	平成29年4月	地域と文化	クラス増加のため平成29年4月就任(29)
兼任	准教授	長谷川 慎 (48)	平成29年4月	芸術論						
兼任	講師	四之宮佳彦 (30)	平成29年4月	数学の世界	兼任	講師	四之宮佳彦 (30)	平成29年4月	数学の世界	就任辞退のため担当者変更(29)
					兼任	教授	山田耕三 (58)	平成29年4月	数学の世界	兼任教員辞退のため、後任に就任(29)
兼任	准教授	依岡輝幸 (38)	平成29年4月	数理の構造 数学概論A 数学概論B	兼任	准教授	依岡輝幸 (39)	平成29年4月	数理の構造 数学概論A 数学概論B	担当者入れ替えのため担当科目変更(29)

					兼任	教授	鈴木 信行 (55)	平成29年4月	数理の構造	平成29年4月就任 (29)
兼任	准教授	嶋田大介 (52)	平成29年4月	物理の世界 物理学実験	兼任	准教授	嶋田大介 (52)	平成29年4月	物理の世界 物理学実験	担当者入れ替えのため変更 (29)
					兼任	教授	山崎昌一 (58)	平成29年4月	物理の世界	担当者の入れ替えのため (29)
兼任	教授	佐藤信一 (58)	平成29年4月	自然と物理						
兼任	教授	小林健二 (53)	平成29年4月	化学の世界						
					兼任	教授	関根理香 (54)	平成29年4月	化学の世界	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任 (29)
					兼任	講師	守谷 誠 (39)	平成29年4月	化学の世界	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任 (29)
兼任	教授	岡林利明 (51)	平成29年4月	生活の科学	兼任	教授	岡林利明 (51)	平成29年4月	生活の科学	担当者入れ替えのため (29)
兼任	教授	栗原 誠 (50)	平成29年4月	生活の科学	兼任	教授	栗原 誠 (50)	平成29年4月	生活の科学	担当者入れ替えのため (29)
兼任	教授	板垣秀幸 (61)	平成29年4月	生活の科学	兼任	教授	板垣秀幸 (62)	平成29年4月	化学の世界 生活の科学	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任 (29) 担当者入れ替えのため (29)
兼任	教授	澤渡千枝 (58)	平成29年4月	生活の科学	兼任	教授	澤渡千枝 (58)	平成29年4月	生活の科学	担当者入れ替えのため (29)
					兼任	教授	山本 歩 (54)	平成29年4月	生活の科学	クラス増加のため平成29年4月就任 (29)
					兼任	准教授	塚田直史 (47)	平成29年4月	生活の科学	クラス増加のため平成29年4月就任 (29)
兼任	講師	森 誠 (68)	平成29年4月	生命科学						
兼任	准教授	徳岡 徹 (47)	平成29年4月	生物と環境						
					兼任	教授	藤原健智 (55)	平成29年4月	生物と環境	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任 (29)
					兼任	准教授	天野豊己 (49)	平成29年4月	生物と環境	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任 (29)
					兼任	准教授	栗井光一郎 (45)	平成29年4月	生物と環境	オムニバスで開講することにしたため平成29年4月就任 (29)
兼任	准教授	原田賢治 (41)	平成29年4月	地球科学						
兼任	准教授	鈴木雄太郎 (44)	平成29年4月	進化と地球環境						
兼任	教授	藤井道彦 (52)	平成29年4月	科学と技術						
					兼任	教授	廣本宣久 (62)	平成29年4月	科学と技術	クラス増加のため平成29年4月就任 (29)
					兼任	教授	田中 繁一 (57)	平成29年4月	科学と技術	クラス増加のため平成29年4月就任 (29)
					兼任	教授	安村 基 (65)	平成29年5月	科学と技術	クラス増加のため平成29年4月就任 (29)
兼任	教授	宇都宮裕章 (47)	平成28年4月	日本語Ⅱ	兼任	教授	宇都宮裕章 (48)	平成28年4月	日本語Ⅱ 日本語Ⅵ	担当予定の教員が退職したため後任として担当科目追加 (29)

兼担	特任助教	名塩征史 (38)	平成28年10月	日本語Ⅲ A B P基礎日本語Ⅳ A B P基礎日本語Ⅴ	兼担	特任助教	名塩征史 (39)	平成28年10月	日本語Ⅲ A B P基礎日本語Ⅳ A B P基礎日本語Ⅴ	ABPプログラム留学生の初期教育を、理系の学生は浜松で、文系の学生は静岡で実施することになり、担当科目減 (29)
兼担	教授	矢崎満夫 (54)	平成28年10月	日本語Ⅳ	兼担	教授	矢崎満夫 (55)	平成28年10月	日本語Ⅳ	29.3退職
兼担	准教授	案野香子 (47)	平成29年10月	日本語Ⅵ	兼担	准教授	案野香子 (47)	平成29年10月	日本語Ⅵ	担当者変更のため (29)
兼担	特任准教授	玉地瑞穂 (45)	平成28年10月	A B P基礎日本語Ⅰ A B P基礎日本語Ⅵ						
兼担	講師	原 滋美 (69)	平成28年10月	A B P基礎日本語Ⅱ A B P基礎日本語Ⅲ A B P基礎日本語Ⅴ						
兼担	講師	釜田友里江 (33)	平成28年10月	A B P基礎日本語Ⅴ A B P基礎日本語Ⅵ						
兼担	講師	植田育子 (45)	平成28年10月	A B P基礎日本語Ⅳ A B P基礎日本語Ⅷ						
兼担	准教授	袴田麻里 (47)	平成28年10月	A B P基礎日本語Ⅹ						
兼任	講師	若井健太郎 (47)	平成28年4月	統計学						
兼担	講師	小野 仁 (67)	平成28年10月	A B P基礎数学						
兼担	講師	星野敏春 (67)	平成28年10月	A B P基礎物理学						
兼担	講師	金子美穂 (30)	平成28年10月	A B P基礎化学						
兼担	講師	品川杏彩 (32)	平成28年10月	A B P基礎生物学						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
14	7	0	7	28	14	10	0	4	28	14	10	0	4	28
( 14 )	( 8 )	( 0 )	( 6 )	( 28 )						[ 0 ]	[ 3 ]	[ 0 ]	[ Δ3 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし				
合計（A）					後任補充状況の集計（B）	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				
合計（C）					後任補充状況の集計（D）	
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）		後任補充状況の集計（B）+（D）		
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）	①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成27年6月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）



## 7 その他全般的事項

### <農学部 応用生命科学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

	該当なし (29)
--	-----------

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 静岡大学大学院農学領域FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成28年度は6回開催し延べ151人の参加があった。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 農学領域・農学部及び農学専攻の教育内容・授業方法の改善のための調査・研究に関する事項</li><li>・ 事業計画等学部教育の研究開発に関する事項</li></ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 教育カリキュラム委員会開催（具体的な教育の進めかたに関する意見交換 3つのポリシーの見直し、カリキュラムツリーの作成についても議論した。）</li><li>・ 教職員参加の研修会開催</li></ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 教育カリキュラム委員会は委員が集まり、意見交換を行う。</li><li>・ 教職員参加の研修会は外部講師を招き、講演と質疑応答を行った。</li><li>・ 学科会議は所属教員が集まり意見交換を行う。</li></ul> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 教育カリキュラム委員会は12名の委員が出席する。28年度は3回の開催</li><li>・ 教職員参加の研修会は教授会前に時間をとり開催した。28年度は2回の開催</li><li>・ 学科会議は所属教員があつまりFDに関することを審議した。28年度は1回の開催</li></ul> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 学生にコメントペーパーを配布し、意見を授業に取り入れている。</li></ul> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 実施している 実施時期は前期後期各1回</li></ul> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ アンケート結果は教員個人に送られる。アンケート結果について教員自身の意見をまとめ、Webに公開している。</li></ul>
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置計画の概要に記されている新設学部において養成する人材像に基づき、学生募集と講義の実施が行われており、概ね順調に進んでいる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成30年度中に自己評価を実施し、平成31年度前半に自己評価報告書を公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成33年度に大学機関別認証評価(評価機関は未定)を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) ( 平成29年 7月 1日 )